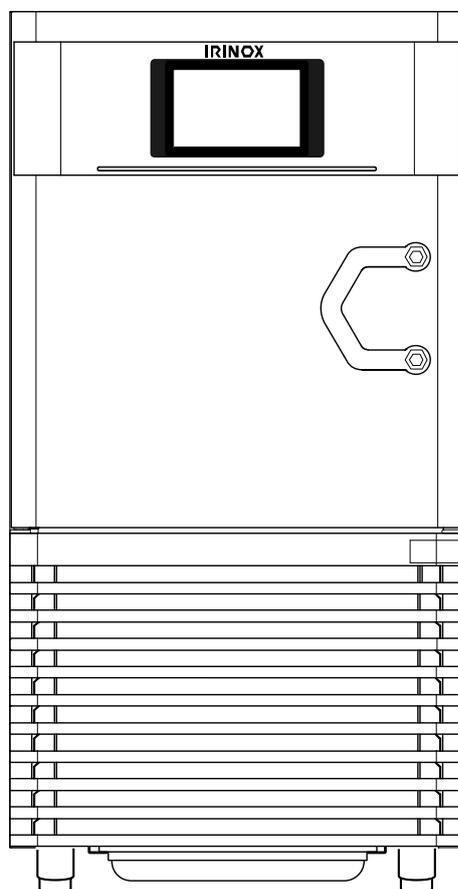


ブラストチラー&ショックフリーザー
MF NEXTシリーズ（業務用）

IRINOX[®]

取扱説明書



このたびは、当社のブラストチラー&ショックフリーザー（MF NEXTシリーズ）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。

必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

目次

安全上のご注意	1～7	各設定値を変更する.....	67～80
各部の名称	8～9	設定項目.....	67～70
操作手順	10～63	システムのバージョンを確認.....	71
棚枠の調節.....	10	本機のセクター(使用区分)を切り替える	72・73
棚板の調節.....	11	日時の変更.....	74・76
電源を入れる.....	12	言語の変更.....	77・78
食材を調理する.....	13～20	ブザー音の音量設定.....	79・80
庫内への食材の入れかた.....	21・22	庫内の除菌機能「サニジェン」	81
サイクルメニューの動作中に変更した 設定内容を保存する	23～25	お手入れ	82～91
終了時刻設定機能を使って好みの 日時に調理を完了させる	26～28	毎日のお手入れ.....	82～86
連続サイクル「ノンストップ」を使用する.....	29～33	週に1回のお手入れ.....	87・88
オリジナルのサイクルメニューを 作って保存する.....	34～37	6ヶ月に1回のお手入れ.....	89～91
サイクルメニューの編集.....	38～41	故障の症状と処置.....	92～94
ダッシュボード画面にサイクルメニューの ショートカットアイコンを作る	42・43	アラームコード.....	95～98
ダッシュボード画面のサイクルメニューのショート カットアイコンの配置を変える.....	44・45	アラームコードについて.....	95～97
ダッシュボード画面のサイクルメニューのショート カットアイコンのサイズを切り替える.....	46・47	アラームコードの履歴表示の確認.....	98
ダッシュボード画面のサイクルメニューの ショートカットアイコンを削除する... ..	48・49	据え付けについて.....	99～105
よく使用するサイクルメニューを 「☆」(お気に入り)に登録する.....	50・51	据付前の準備.....	99・100
「☆」(お気に入り)に登録されているサイクルメニュー のショートカットアイコンを削除する.....	52・53	据付け	100・101
サイクルメニューの検索.....	54・55	庫内の排水について.....	102・103
各サイクルグループについて	56～60	据付後の動作確認.....	104～106
HACCPにサイクルの詳細を記録する	61～63	仕様.....	107～110
庫内の霜取りのしかた.....	64・66	付属品	110
		保証書(別添付)について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間.....	111

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はアース端子に接続してください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用ブレーカ

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

本機の冷媒回路に損傷を与えないこと

誤って冷媒回路を損傷させた場合は、本機を使用せずに、速やかにお買上げ店にご連絡ください。そのまま使用されますと事故の原因になります。



禁止

加熱や発酵、保温などのヒーターを使用するサイクルを使う場合は、アルコールなどの引火性の液体や食材は庫内に入れないこと

引火しますと、火災の原因になります。
故障の原因にもなります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

庫内以外には直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグ使用の場合）が破損している場合は使用しないこと
そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用の場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的にコンセントから電源プラグを抜いて確認し、確実に根元まで差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用ブレーカ切

異常時は、『停止』アイコンをタップして機械を止め、本機専用ブレーカを『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

電源プラグ使用の場合、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



禁止

庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転しないこと

庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。



素手禁止

冷凍のサイクル完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持たないこと

冷凍のサイクル完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持ちますと低温やけどの原因になります。



素手禁止

加熱のサイクル完了直後のホテルパンや庫内は、素手で触らないこと

加熱のサイクル完了直後のホテルパンや庫内は、高温（最高約85℃）になっているため、素手で触りますとやけどの原因になります。



注意

芯温プローブの先端は尖っているため、取り扱いに注意すること

芯温プローブの先端に触れますと、ケガの原因になります。

⚠ 警告



素手禁止

芯温プローブが熱くなっているときは、素手で触らないこと

芯温プローブが熱くなっているときに素手で触りますとやけどします。



禁止

ディスプレイは、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと

ディスプレイを破損しますと、漏電、感電の原因になります。



除菌

芯温プローブを使用する場合、使用する前にアルコールで除菌すること

芯温プローブを除菌せずに食材に差し込みますと、食材内で菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



禁止

急速冷却中または急速冷凍中、頻繁に扉の開閉を繰り返さないこと

冷却または冷凍効果が発揮できず調理が不十分となり、健康障害の原因および食材の品質低下の原因になります。



禁止

庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして庫内を洗浄すること

庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなる場合があります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



専用ブレーカ切

お手入れのときや、点検のときは、必ず本機専用ブレーカを『OFF(切)』にすること

漏電、ショート、感電の原因になります。
誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。



専用ブレーカ切

庫内のファンカバーを開けるときは、必ず本機専用ブレーカを『OFF(切)』にすること

庫内ファンが回っている場合、または誤ってディスプレイに触れて庫内ファンが回った場合、ケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。
庫内や機械内部からの水漏れの原因にもなります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。
排水の配管に不備があると、周囲を濡らす原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

本機は可燃性冷媒ガスを使用していますので、廃棄の際に専門業者やお買上げ店に可燃性冷媒ガスを使用していることを伝えてください。
放置せずに、速やかに専門業者やお買上げ店に渡してください。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



周囲空ける

本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



防水処置

水などをこぼしてもよい所に据え付けること

使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。水がこぼれて機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグ使用の場合、コンセントから電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ部分を持って抜くこと

電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



排水点検

始業時に、排水ホースに詰まりがないか、点検をおこなうこと

排水ホースが詰まると、排水がスムーズにおこなわれず、庫内から水などがあふれ出た場合、周囲を濡らす原因になります。



挿入禁止

庫内ファンが回転しているときは、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。庫内ファンや箸、スプーンなどが破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



指挟まない

扉や空気吸い込み口カバーを閉めるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしたり、電源プラグを抜いたり(電源プラグ使用の場合)すると、発火の原因になります。

⚠ 注意



禁止

扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと
製品が転倒した場合、ケガの原因になります。



お手入れ

ご使用後は、庫内の清掃をおこなうこと
雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



接触禁止

庫内温度が0℃以下のときは、庫内各部位に直接触れないこと
庫内に直接触れた場合、皮膚が引っ付いてケガの原因になります。
低温やけどの原因にもなります。



接触禁止

庫内が熱い状態のときは、庫内各部位に直接触れないこと
庫内に触れた場合、やけどの原因になります。



接触禁止

庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



接触禁止

凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



ゴム手袋

庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分にすすぎをおこな
い乾燥させること
洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。



アルコール除菌

庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



開放禁止

長時間使用しないときは、庫内を完全に乾燥させてから扉を閉めておくこと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
扉を開け放しておくと、庫内に虫などが入り込む原因になります。



開放禁止

お手入れのときや、霜取り(デフロスト)のとき以外、ドレンキャップを長時間取外ししておかない
こと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
庫内に虫などが入り込む原因になります。

⚠ 注意



洗淨乾燥

食材を入れるホテルパンなど直接食材に触れるものは、ご使用后、洗淨剤を使って洗淨したあと、十分乾燥させること

食材が付着していたり、水分が残っていたりしますと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



排水

1回の冷却サイクルまたは冷凍サイクルの終了後は、ドレンパンに溜まった水などを捨てること

ドレンパンに溜まった水を捨てないと、ドレンパンから水があふれ出て床面を濡らしたり、ドレンパン内で雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



プラグ抜く

ご使用後は、安全のためコンセントから電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)こと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



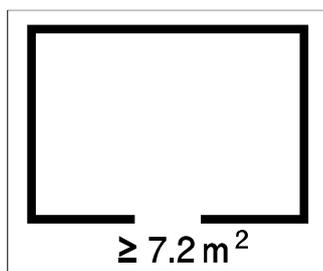
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

お願い

本機前面下部にあります空気吸い込み口や、背面下部の吹き出し部には障害物で塞がないでください。
本機内部に熱がこもりやすくと、冷却不良の原因になります。
故障の原因にもなります。

本機の設置床面積は、本機に貼付しています「最小設置面積」に従って、7.2m²以上設けてください。
設置面積が7.2m²に満たない場合、故障の原因になります。



本機の庫内の霜取りをおこなうときは、本機の霜取り機能以外の手段で霜取りをおこなわないでください。

機械や器具、工具などを使用されますと、故障の原因になります。

本機の庫内で、電気器具などは使用しないでください。

故障の原因になります。

本機の庫内で、食材に直接塩をかけないでください。

加熱や発酵、保温などのヒーターを使用するサイクルを使う場合は、アルコールなどの引火性のある液体や食材は庫内に入れないでください。

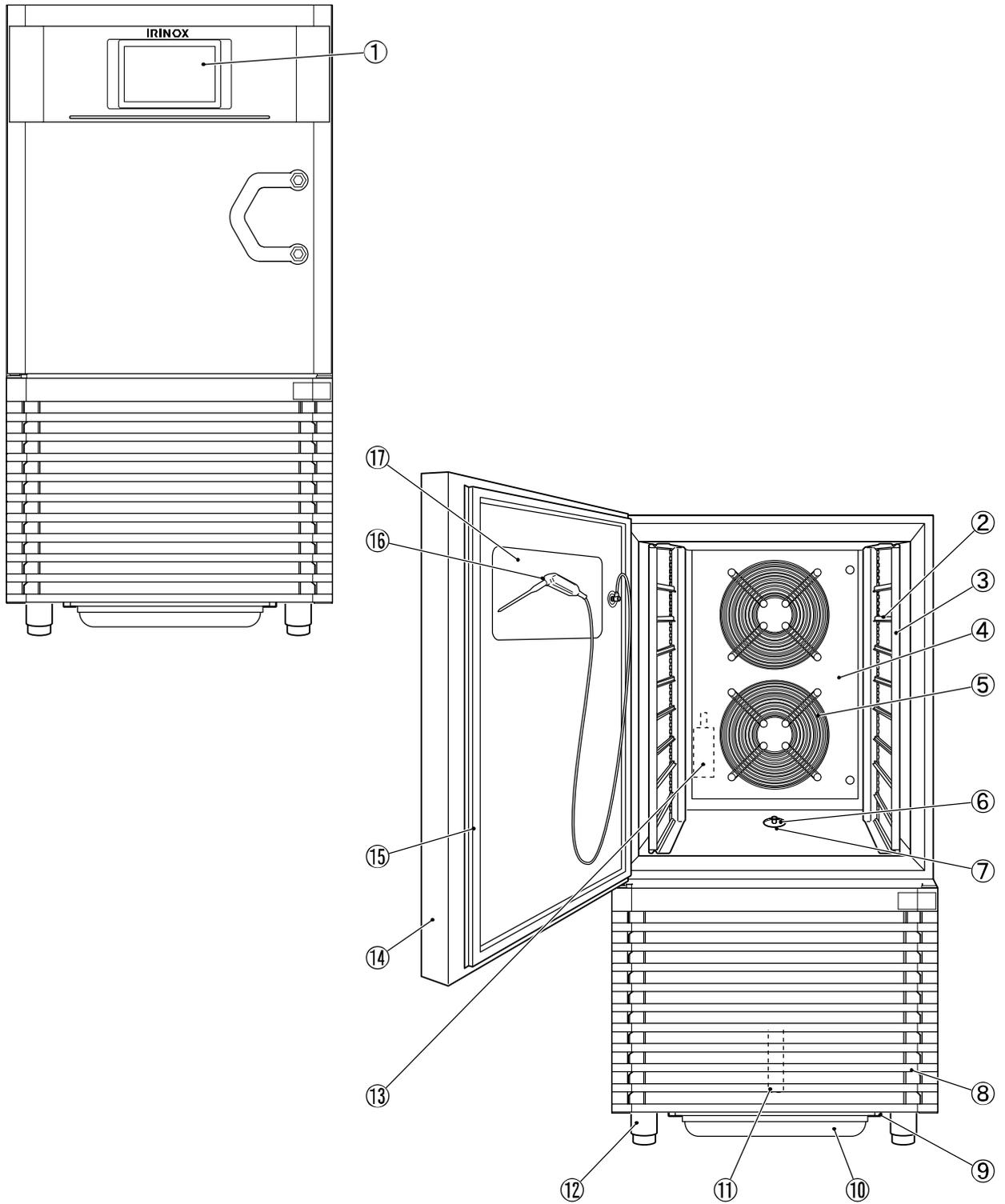
本機の庫内は、ご使用后、洗淨、清掃をおこなって清潔な状態にしてください。

とくに、加熱のサイクルをおこなったあとは、庫内に付着した油脂分食材を除去してください。

各部の名称

本機は、食材を冷却、または冷凍、再加熱、発酵する機械です。

本体



⑦ディスプレイ（タッチパネル）

サイクルの選択、霜取り（デフロスト）の選択、各設定の変更などをおこないます。

⑧棚板

棚枠に取り付けて、食材を入れたホテルパンなどをこの上にセットします。

⑨棚枠

棚板を取付けます。

⑩ファンカバー

庫内ファンと、蒸発器フィンを保護するカバーです。

⑪庫内ファン

⑫ドレンキャップ

庫内の底に溜まった水などを排水口から流し落とすときに取り外します。

⑬排水口

庫内の底に溜まった水などをここから、ドレンパイプを通して、本機下部のドレンパンに流し落とします。

⑭空気吸い込み口カバー

凝縮器を保護しています。
空気吸い込み口カバーの内側には、凝縮器フィルターがあります。

⑮ドレンパン取付けブラケット

ドレンパンは、本機の使用時にこのブラケットに乗せます。

⑯ドレンパン

庫内底の排水口から流れ落ち、ドレンパイプを通った水などを受け止めます。

⑰ドレンパイプ

庫内底の排水口から流れ落ちた水などがここを通ります。

⑱アジャスト脚

本機を水平にするときに調節します。

⑲サニジェン

庫内の除菌をおこなう装置です。

⑳扉

㉑扉パッキン

㉒芯温プローブ

食材の芯温（中心温度）を設定した芯温になるまで冷却または冷凍するときに使用します。

㉓芯温プローブ取付け部

黒色の線で囲まれた部分はマグネットになっています。
芯温プローブを使用しないときは、ここに取付けてください。

操作手順

お願い

初めて本機をお使いになる場合は、「お手入れ」(82 ページ)を参照して庫内のお手入れをおこなってください。

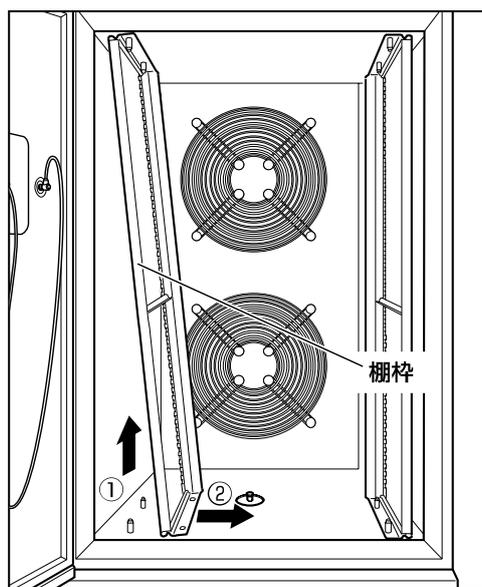
棚枠の調節 (対象機種 : MF NEXT S、MF NEXT M)

使用するホテルパン、または600×400天板、グリッドなどに合わせて庫内の棚板の位置を変えてください。

1. 棚枠を庫内の支持ピンから取り外してください

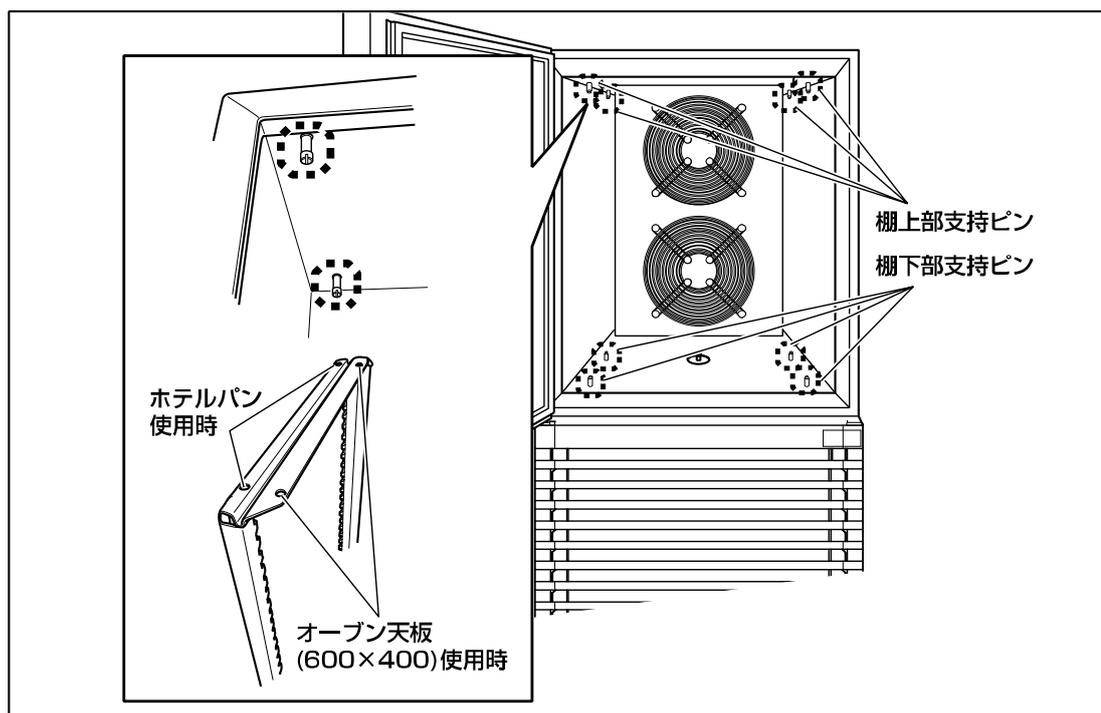
棚枠は、持ち上げて庫内床面にある支持ピンから外してください。

棚板の下側を横方向にずらしながら、庫内天井の支持ピンから外してください。

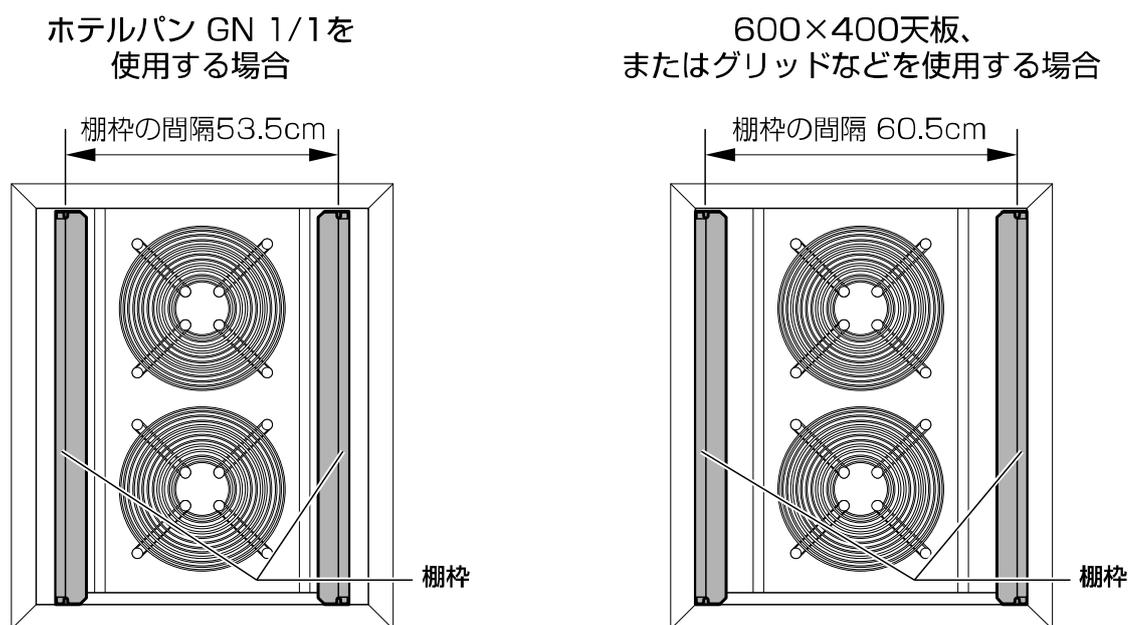


2. 使用するホテルパン、または600×400天板、グリッドなどに合わせて棚枠を庫内に取り付けなおしてください

棚枠は、前後を間違わないようにして取り付けてください。



棚枠の間隔は、下の図を参考して調整してください。



棚板の調節

冷却または冷凍する食材の大きさや数量に合わせて棚板の位置を調節してください。

1. 棚枠から棚板を取り外してください

棚板が外れにくいときは、手の平でたたき上げるようにして外してください。

2. 冷却または冷凍する食材の大きさに合わせて棚板を取り付けてください

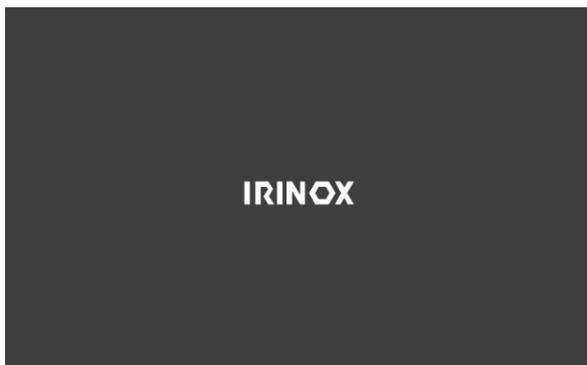
食材をより効率よく冷却または冷凍するためには、「庫内への食材の入れかた」(21ページ)参照して棚板の位置を決めてください。

左右の棚板は、必ず同じ高さになるように取り付けてください。

電源を入れる

本機専用ブレーカを『ON(入)』にしてください

約20秒後、本機のディスプレイに「IRINOX」が表示されます。



約35秒後、ロック画面が表示されます。



除菌機能「サニジェン」がオンになっている場合は、庫内ファンが設定された時間回転します。

本機に異常がある場合、ディスプレイにアラームコードが表示されます。

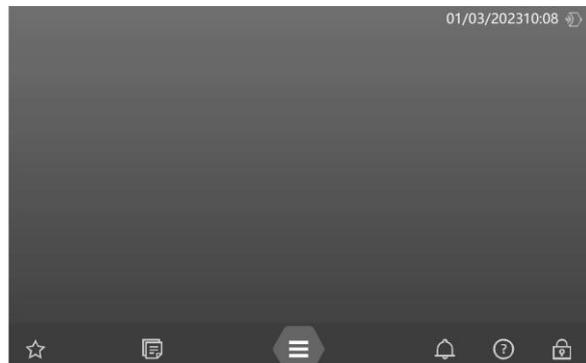
アラームコードが表示された場合は、「アラームコード」(95ページ)を参照してください。

本機の電源を切る場合は、本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてください。

食材を調理する

芯温プローブを使用すると、食材の芯温が設定した温度になるまで調理をおこないます。
食材をより最適な温度に調理したい場合にお使いいただくと便利です。

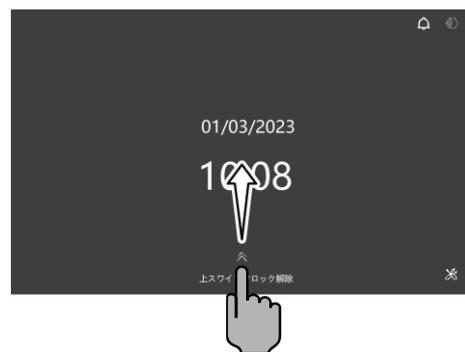
1. ダッシュボード画面を表示させてください



メモ

ディスプレイがスリープ(表示が消えている)状態になっている場合は、ディスプレイをタップすると、ロック画面が表示されます。

ロック画面が表示されている場合は、画面下の『』アイコンをタップしながら上方向にスワイプすると、ダッシュボード画面が表示されます。

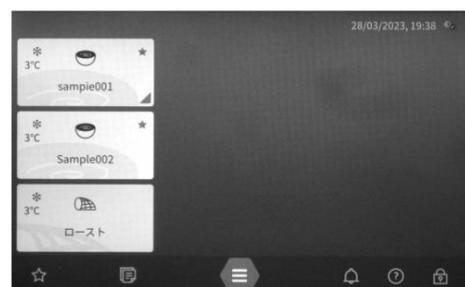


右のような画面が表示されている場合は、現在、サイクルメニューの動作中であることを表しています。



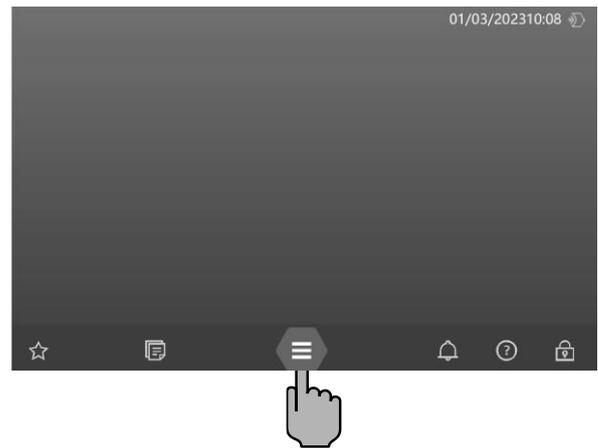
メモ

ダッシュボード画面には、よく使用するサイクルメニューのショートカットアイコンを作ることができます。
右の画面は、ダッシュボード画面に、サイクルメニューのショートカットアイコンが作られた状態です。
ダッシュボードに、ショートカットアイコンを作る方法については、「ダッシュボード画面にサイクルメニューのショートカットアイコンを作る」(42ページ)参照してください。



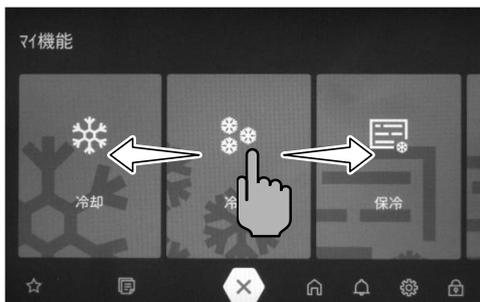
2. 『☰』アイコンをタップしてください

サイクルグループメニュー画面が表示されます。



3. 使用するサイクルグループメニューのアイコンをタップしてください

画面を指で、右または左にスワイプすると、隠れているサイクルグループのアイコンが表示されます。



サイクルメニューのアイコンが一覧で表示されます。

画面を指で横にスワイプすると、隠れているサイクルメニューのアイコンが表示されます。



サイクルグループによりサイクルメニューアイコンの種類が違います。

各サイクルグループについては「各サイクルグループについて」(56ページ)を参照してください。

4. 使用するサイクルメニューのアイコンをタップしてください

サイクルメニューの内容（各フェーズ）が表示されます。



フェーズの動作合計時間
（「予冷」「予熱」「保持」の時間は含まない）

5. サイクルを開始してください

お願い

この段階では、庫内に食材を入れないでください。
サイクルを開始すると、庫内を調理に最適な温度にするための予冷または予熱がおこなわれます。

画面右上にある『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください。



冷却や冷凍、保冷のサイクルメニューの場合
「予冷」が開始されます。

加熱や保温、発酵のサイクルメニューの場合
「予熱」が開始されます。



メモ

「予冷」や「予熱」をスキップしたい場合は、『』アイコンをタップすると「予冷」や「予熱」をスキップすることができます。

『』アイコンをタップすると、確認の画面が表示されますので、『OK』アイコンをタップしてください。

フェーズ01に切り替わります。



「予冷」または「予熱」が完了すると、右のような画面が表示されます。

「予冷」または「予熱」では、表示されるメッセージの内容が異なります。



メモ

この画面は、『消去』をタップするか、扉を開閉するまで表示されます。

『消去』をタップすると「フェーズ完了」の表示が消えますが、扉を開閉するまでは次のフェーズ01には切り替わりません。

6. 食材を庫内に入れてください

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンを乗せてください。

食材をより効率よく調理するには、「庫内への食材の入れかた」(21ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

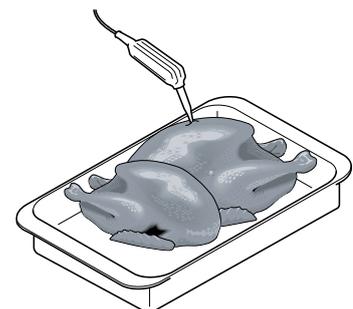
お願い

風で飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で本機での調理をおこなわないでください。

庫内奥にある蒸発器フィンや庫内ファン、ヒーターに付着して故障の原因になります。

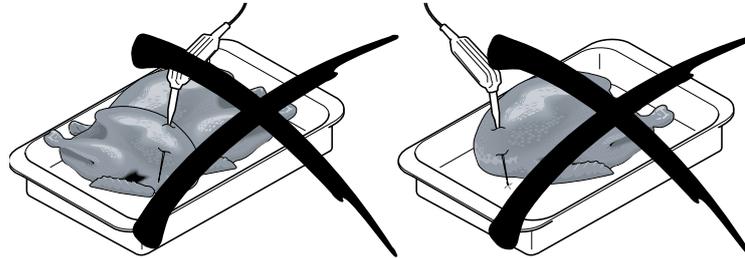
芯温プローブを使用するサイクルメニューの場合は、扉の芯温プローブ取付け部から芯温プローブを取り外し、食材に芯温プローブを刺し込んでください。

芯温プローブは、先端部分ができるかぎり食材の中心部にくるように刺し込んでください。



お願い

芯温プローブの先端が食材を貫通した状態、またはホテルパンに当たった状態にしないでください。
芯温プローブの先端が食材の中央に刺し込まれていないと、食材の正しい温度をはかることができません。



7. 本機の扉を閉めてください

フェーズ01から順に各フェーズの動作をおこないます。



メモ

サイクルの動作中でも、フェーズの設定内容を変更することができます。
フェーズの設定内容を変更する場合は、変更したいフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

設定変更ができる項目の種類は、サイクルメにより異なります。

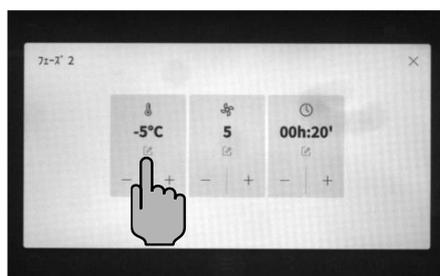
変更したい値の『-』または『+』をタップして好みの値に変えて『×』をタップして設定変更の画面を閉じてください。

時間は、10分刻みで変更することができます。



設定の値の変更方法は、『-』と『+』をタップして変える方法以外に、値入力の画面を表示させて変更することもできます。

値入力の画面を表示させる場合は、設定項目の中央にある『』をタップすると、画面が表示されます。



設定項目によって値入力の画面は異なります。



温度設定



風量設定



時間設定

時間は、1分刻みで変更することができます。

お願い

保温や加熱のサイクルメニューで、フェーズの設定を変更する場合は、風量を2以上に設定してください。

風量を1に設定されますと、庫内ファンの変形や破損、ファンモーターの故障の原因になります。ドアパッキンなどの樹脂部品の変形、劣化の原因にもなります。

サイクル中、各フェーズが終了する毎に「フェーズ完了」をお知らせするメッセージが表示され、次のフェーズに切り替わります。

「フェーズ完了」の表示は、『消去』アイコンをタップする、または約10秒経過するまで表示されます。



「保持」以外の全てのフェーズの動作が完了すると、「サイクル完了」のメッセージが表示されます。



メモ

サイクル中、フェーズの設定を変更された場合は、設定を保存するか確認する画面が表示されます。

変更を保存しない場合は『保存しない』をタップしてください。

変更を保存する場合の詳細は、「サイクルメニューの動作中に変更した設定内容を保存する」(23ページ)を参照してください。



『OK、続行』アイコンをタップしてください。
「保持」が開始されます。
「保持」は『停止』アイコンをタップして止めるまでおこなわれます。



画面に表示されている「残り時間」は、「保持」の動作経過時間です。

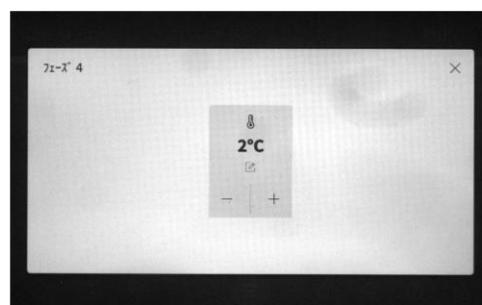


メモ

サイクル動作中でも「保持」は、設定温度を変更することができます。
設定温度を変更する場合は、「保持」のフェーズをタップしてください。
設定変更の画面が表示されます。

風量の設定は、変更することはできません。

『-』または『+』をタップしてお好みの温度に変え、
『×』をタップして設定変更の画面を閉じてください。
温度の値が変わっていることを確認してください。



お願い

保温のフェーズで、「保持」の風量を変更する場合は、
2以上に設定してください。

風量を1に設定されますと、庫内ファンの変形や破損、
ファンモーターの故障の原因になります。

ドアパッキンなどの樹脂部品の変形、劣化の原因にも
なります。

8. 「保持」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

「サイクル停止中」画面が表示され、「保持」
を停止するか確認の画面が表示されます。



『即停止』アイコンをタップして終了してください。

『キャンセル』をタップした場合は、「保持」が引き続き継続されます。

画面切り替えの選択画面が表示されます。



『HACCP 記録』をタップした場合
サイクルの温度などの情報を機械内部のメモリーに記録します。
「HACCPにサイクルの詳細を記録する」(61ページ)を参照してください。

『ダッシュボードに移動』をタップした場合
ダッシュボード画面に戻ります。

『×』をタップした場合
サイクルメニューの画面に戻ります。



9. 食材から芯温プローブを抜いて、食材を取り出してください

扉を開け、食材から芯温プローブを抜き取ってください。

芯温プローブは、扉内側にある芯温プローブ取付け部に取り付けてください。

お願い

必ず先に食材に刺し込んだ芯温プローブを抜いてからホテルパンを取り出してください。

芯温プローブを食材から抜かずにホテルパンを庫内から出すと、芯温プローブの配線を損傷する恐れがあります。

芯温プローブを使用しないときは、必ず扉の芯温プローブ取付け部に取り付けておいてください。

食材の出し入れや庫内を洗浄するときなどにコードを引っかけたりして強い力がかかると、芯温プローブの配線を損傷する恐れがあります。

芯温プローブを落としたり、ぶつけたりしますと故障の原因になります。

食材を入れたホテルパンを庫内から取り出してください。

庫内への食材の入れかた

ここでは、食材をより効率よく冷却または冷凍するための庫内への入れかたについて説明します。

庫内に入れる食材の量と温度

庫内に入れる食材の量は、必ず守ってください。

棚一段の食材の量は最大で5kgとして、庫内に入れる最大量は下記のとおりになります。

型式	冷却(チリング)	冷凍(フリージング)
MF NEXT S	25kg	25kg
MF NEXT SL	40kg	40kg
MF NEXT M	50kg	50kg
MF NEXT ML	80kg	80kg

食材の量が多すぎたり、温度が高すぎたりしますと、冷却または冷凍にかかる時間が長くなります。

冷却または冷凍にかかる時間が長くなりますと、細菌の繁殖の抑制が十分におこなえません。

70℃以上の食材を庫内に入れる場合、冷却サイクルは90分以内に芯温が+3℃になるように、冷凍サイクルは4時間以内に芯温が-18℃になるように食材の温度と量を調整してください。

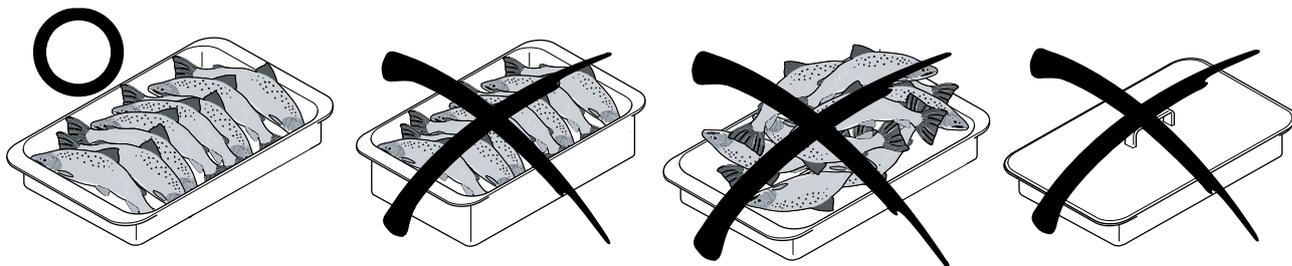
食材をより効率よく冷却または冷凍するためのホテルパンなどへの入れかた

食材をホテルパンなどの容器に入れる場合、底の深いものは使用しないでください。

食材は重ならないようにし、風が当たりやすいように並べてください。

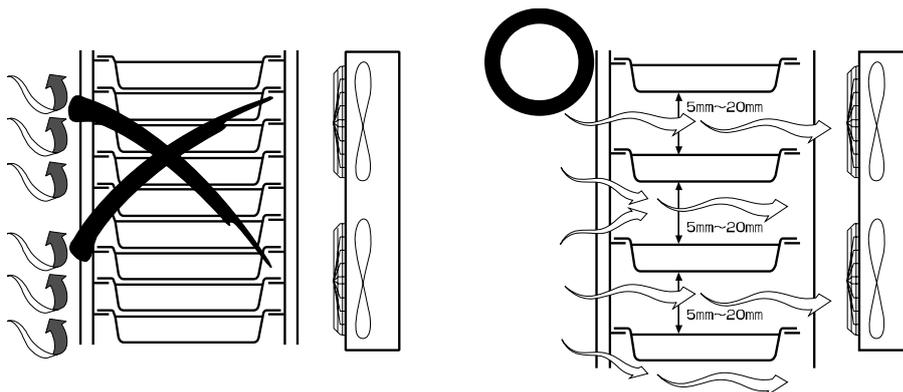
特殊な食材以外は、風の当たりを防ぐような蓋などをかぶせないでください。

食材に蓋をする必要がある場合は、ラップなど冷却や冷凍の妨げになりにくいものを使用してください。

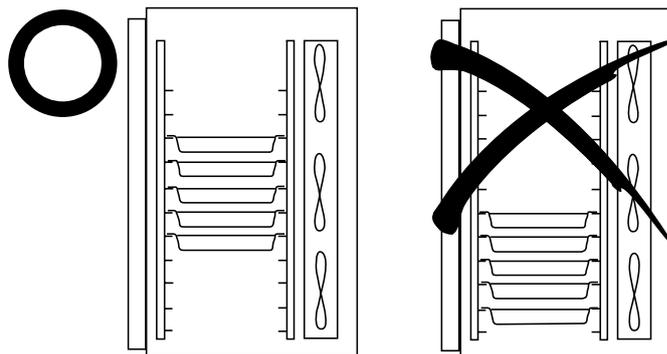


食材を効率よく均等に冷却または冷凍するための庫内への入れかた

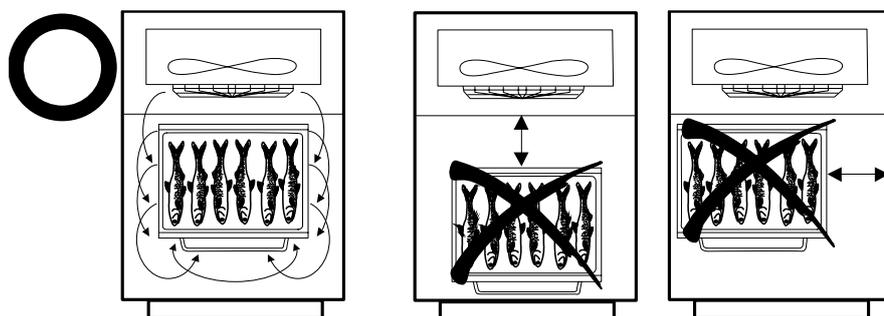
食材を入れたホテルパンなどを複数、庫内に入れる場合、食材同士上下の間隔は5mm~20mm程度空けてください。



食材を入れたホテルパンは、なるべく庫内の上下に対して中央の位置にくるように入れてください。



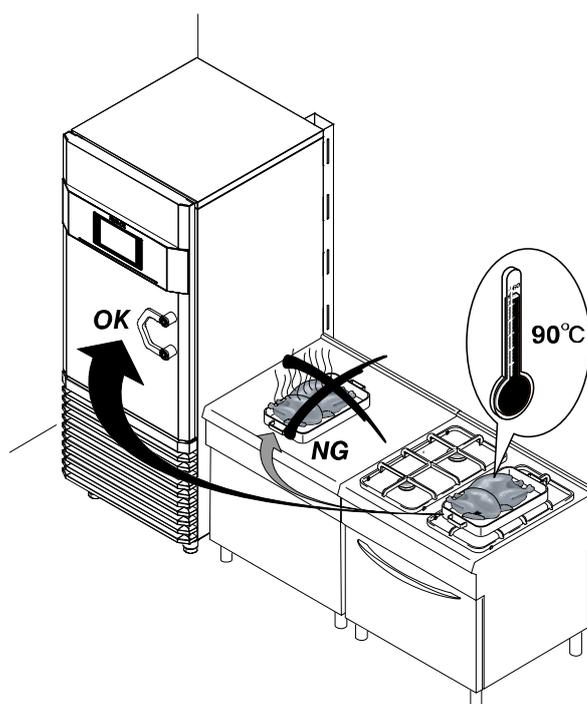
食材は、庫内の左右に対して中央の位置で、庫内ファン寄りの位置に入れてください。



加熱調理後の食材を庫内に入れて冷却または冷凍する方法

加熱調理後の食材の場合は、あらかじめ庫内を冷やしておいて、加熱調理後の食材を速やかに庫内に入れて、冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなってください。

加熱調理後は食材の水分が蒸発しているため、冷却または冷凍をおこなうまでの時間が空きますと、食材が水分を失うことになり、柔らかさを失う原因になります。



サイクルメニューの動作中に変更した設定内容を保存する

サイクルメニューの動作中に変更した設定内容は保存することができます。

サイクルメニューの動作中にフェーズの設定を変更した場合、調理のフェーズが全て終了すると、「保持」に切り替わる直前に、変更した設定内容を保存するかの確認画面が表示されます。ここでは、その画面が表示されたときにおこなう保存方法について説明します。

「保持」で変更した設定内容は、保存されません。

保存したサイクルメニューは、同サイクルグループ内に保存され、新しいアイコンが追加されます。

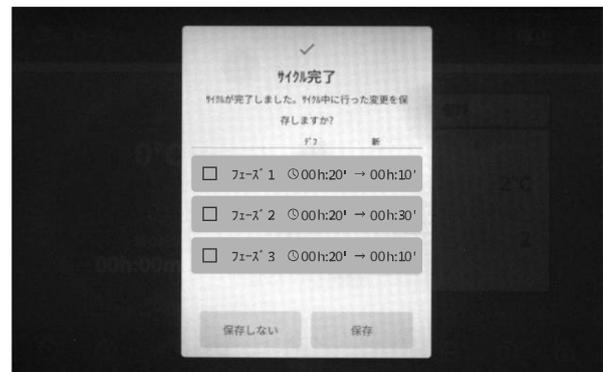
メモ

既存のサイクルメニューの内容は変更できますが、その変更内容を上書き保存することはできません。変更を保存する場合は、サイクルメニューの名前を変えて、別のサイクルメニューとして保存してください。

新しくサイクルメニューを作る方法については、「オリジナルのサイクルメニューを作って保存する」(34ページ)を参照してください。

1. 「サイクル完了」の画面が表示されていることを確認してください

「保持」以外のフェーズの動作が全て終了すると、「保持」に切り替わる直前に、右の画像のような、変更した設定内容を保存する確認画面が表示されます。



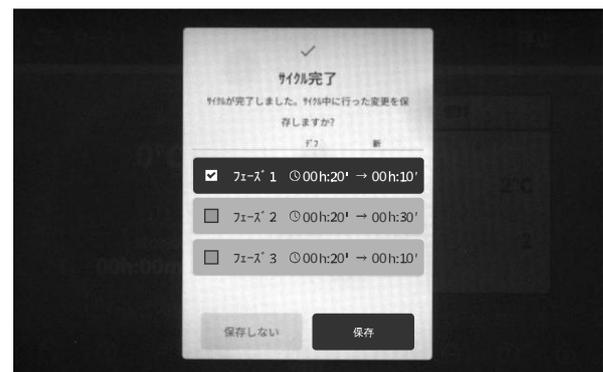
2. 保存するフェーズを選択してください

変更した設定内容は、フェーズ単位で選択して保存することができます。

変更をおこなわなかったフェーズは、表示されません。

保存するフェーズの「□」に「✓」を付けてください。

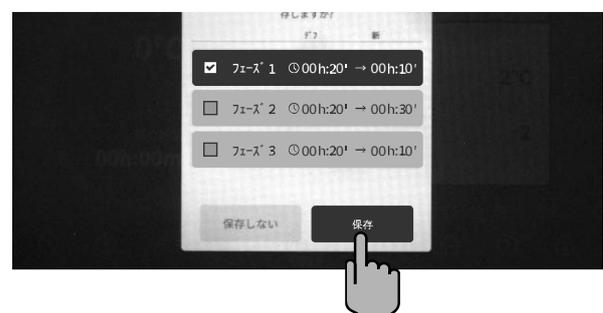
右の画像は、フェーズ1を選択した状態です。



全てのフェーズの変更を保存する場合は、表示されている全フェーズの「□」に「✓」を付けてください。

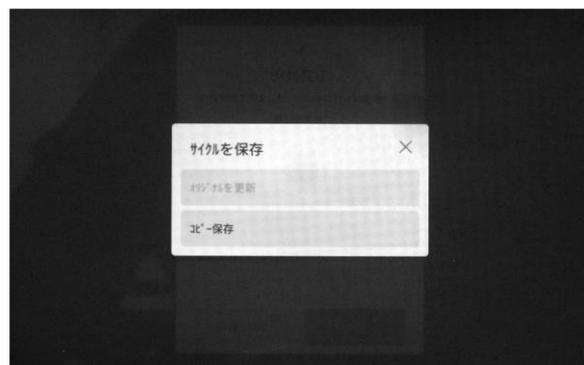
3. 変更した設定を保存してください

保存の確認画面が表示されます。



『コピー保存』をタップしてください。
『オリジナル更新』はタップ（選択）することはできません。

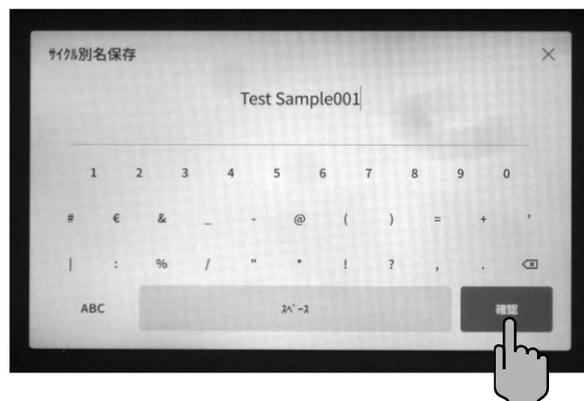
名前入力の画面「サイクル別名保存」の画面が表示されます。



お好みの名前を入力してください。
日本語を使用することはできません。
文字は、大文字、小文字のアルファベット、
数字、記号で入力してください。



名前を入力しましたら、『確認』アイコンをタップしてください。
「サイクル保存完了」の画面が表示されます。



『OK、続行』アイコンをタップしてください。
サイクルの画面に戻ります。
本機は「保持」の動作中になっていることを
確認することができます。



保存したサイクルメニューは、同サイクルグループ内に新しくアイコンが追加されます。



メモ

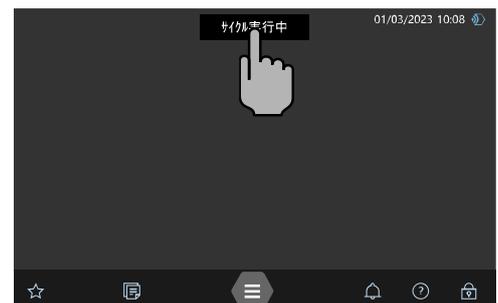
サイクルの動作中でも、新しいサイクルメニューのアイコンが追加されているか確認することができます。

「保持」の動作中に、サイクルメニューが追加されているかを確認するには、『◀』アイコンなどをタップして同サイクルメニューの一覧画面を表示させてください。

サイクルメニューの一覧画面内に、サイクルメニューのアイコンが追加されているのを確認してください。



動作中のサイクルメニューを再度表示させるには、ダッシュボード画面を表示させてください。ダッシュボード画面の上側に表示されている『サイクル実行中』をタップすると動作中のサイクルが表示されます。



終了時刻設定機能を使って好みの日時に調理を完了させる

サイクルメニューによっては、終了時刻設定機能を使って、好みの日付と時刻にサイクルメニューの調理を完了させる設定ができます。

終了時刻設定機能が使用できるサイクルグループ以下のとおりです。

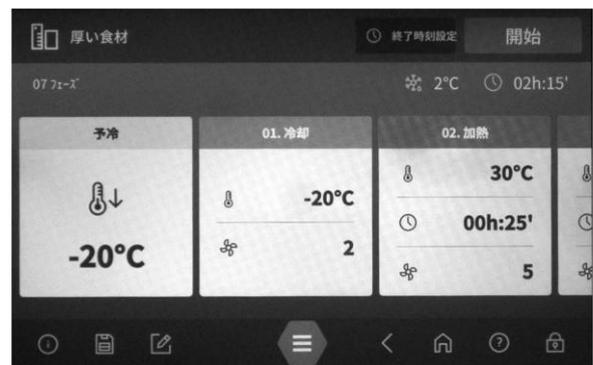
その他のサイクルグループでは終了時刻設定機能は使用することはできません。

- 「解凍」
- 「提供可」（再加熱）
- 「プログラムされた発酵」
- 「遅延発酵」

ここでは、サイクルメニューの終了時刻設定機能の使用方法について説明します。

1. サイクルメニューの画面を表示させてください

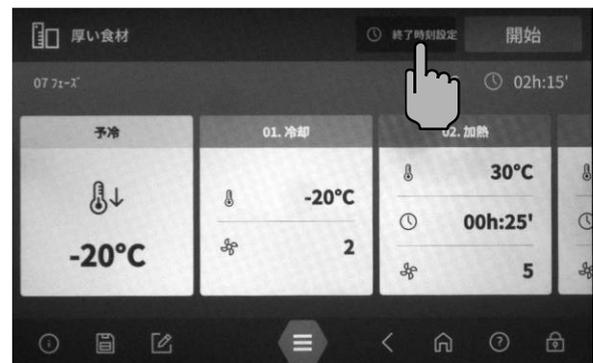
終了時刻設定機能を設定するサイクルメニューの画面を表示させてください。



2. 終了時刻設定機能の調理完了日時を設定してください

画面上にある『終了時刻設定』アイコンをタップしてください。

「サイクル終了日付」画面が表示されます。



終了時刻設定機能を動作させる日付をタップし、『進める』アイコンをタップしてください。

「サイクル終了時刻」画面が表示されます。



サイクルメニューを完了させたい時刻を設定し、『SET』アイコンをタップしてください。

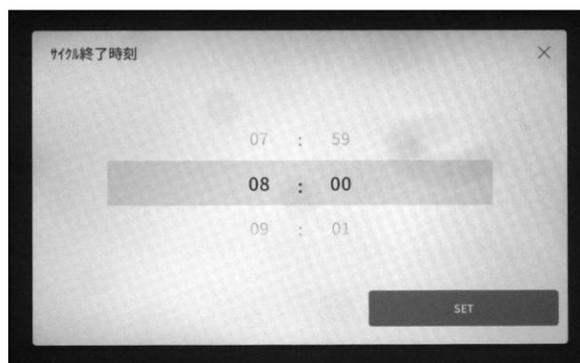
値の変更は、値部分を指で上下にスクロールすると変更できます。

サイクルメニューの画面に戻ります。

お願い

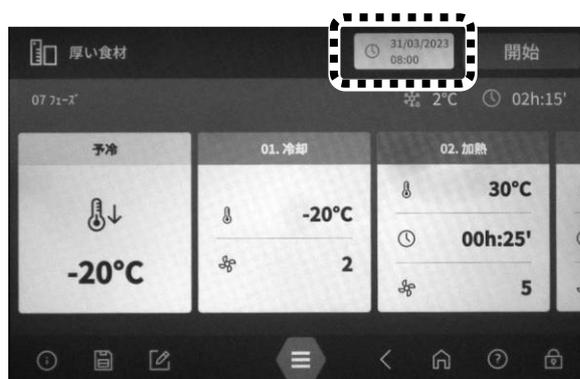
時刻は、使用するサイクルメニューの合計時間を考慮して設定してください。

『開始』アイコンをタップしてから調理完了時刻までの時間が、サイクルメニューの合計時間より短い場合、食材が正常に調理されない可能性があります。



サイクルメニューの画面上に、サイクルの終了日時が表示されていることを確認してください。

サイクルの終了日時を変更する場合は、サイクルの終了日時部分をタップして、再度設定し直してください。



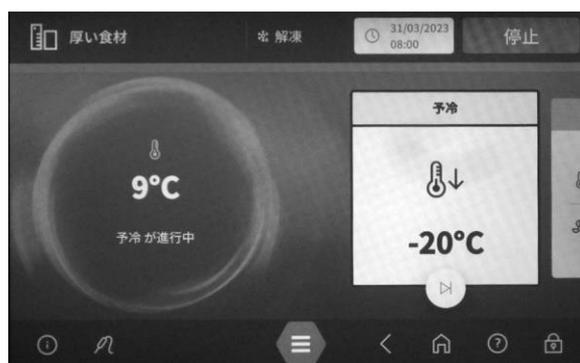
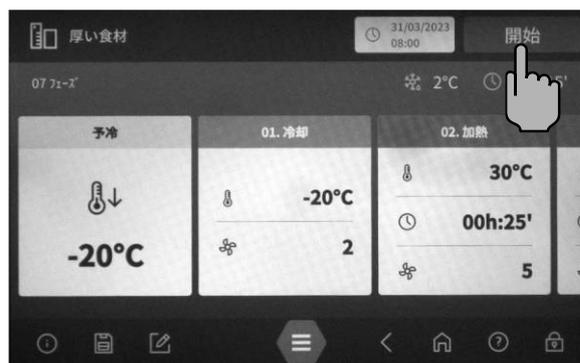
3. 終了時刻設定機能を作動させてください

『開始』アイコンをタップすると、サイクルが開始されます。

メモ

『開始』アイコンをタップして終了時刻設定機能の作動中は、他のサイクルメニューはご使用できません。

他のサイクルメニューをご使用になられる場合は、『停止』をタップして終了時刻設定機能を停止させてください。



設定した日時にサイクルが完了されると、右のような画面が表示されます。

『ダッシュボードに移動』をタップした場合
ダッシュボード画面に戻ります。

『×』をタップした場合
サイクルメニューの画面に戻ります。



連続サイクル「ノンストップ」を使用する

「ノンストップ」とは、設定温度の値が同じで、サイクルの時間が異なる食材の調理を同時に開始して、サイクルの完了が早いものから順番にサイクル完了を知らせる機能です。

「ノンストップ」1件につき、18段まで調理時間を設定することができます。

「ノンストップ」では、芯温の調理を1件の「ノンストップ」に1段のみ設定できます。

1. サイクルグループ画面で「ノンストップ」をタップしてください

「ノンストップ」のサイクルメニューの一覧が表示されます。



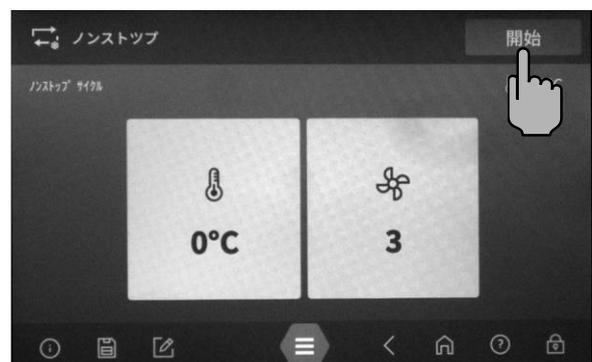
2. お好みのサイクルメニューのアイコンをタップしてください

サイクルメニューの内容が表示されます。



3. 『開始』アイコンをタップしてサイクルを開始してください

「ノンストップ」のサイクルが開始され、動作画面が表示されます。



4. 食材を庫内に入れて扉を閉めてください

芯温プローブを使用する場合は、芯温プローブを食材に正しく刺し込んでください。

5. 各トレイのプリセット時間を設定してください

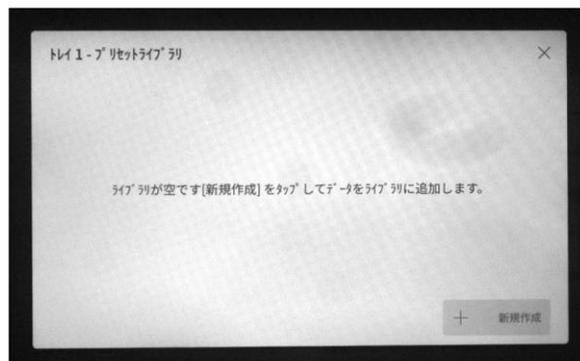
トレイの設定をする必要がない場合は、そのままサイクルをおこなってください。

各トレイを設定する場合は、設定するトレイのアイコンをタップしてください。



初めて、お使いになる場合は、右の画面のように、プリセットのアイコンが何もありません。

『+新規追加』アイコンをタップして、設定画面を開いてください。



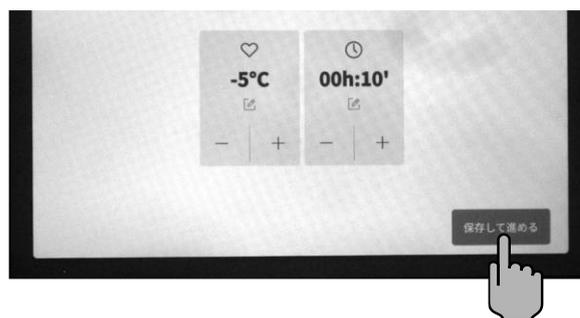
芯温とサイクル時間を設定してください。

芯温プローブは1本のため、芯温が使用できるトレイは1箇所のみです。



設定ができましたら『保存して進める』アイコンをタップしてください。

「色割当」画面が表示されます。



プリセットのアイコンに割り当てる色を選択して、『保存して進める』アイコンをタップしてください。

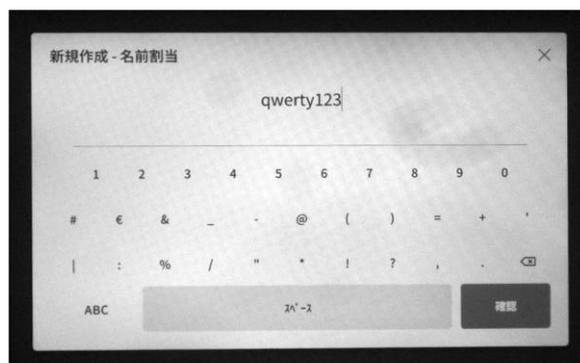
色を設定しない場合は、『』を選択してください。

「名前割当」画面が表示されます。



プリセットのアイコンに名前を入力して、『確認』アイコンをタップしてください。

「プリセットライブラリに保存」画面が表示されます。



『プリセットライブラリに移動』アイコンをタップしてください。

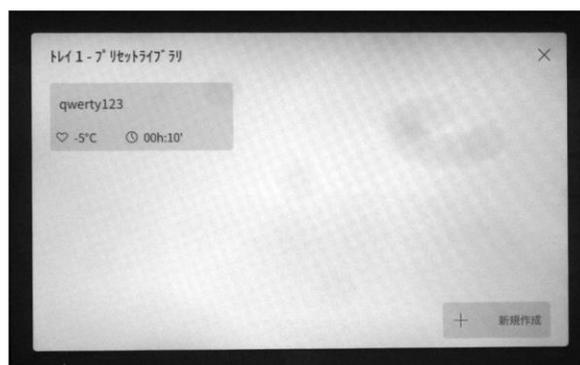


プリセットライブラリ画面に、新しく作成したプリセットのアイコンが表示されます。

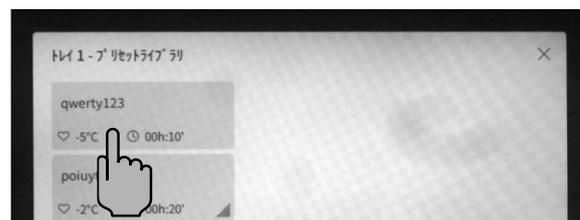
メモ

作成したプリセットのアイコンは、削除の操作をするまでは保存され続けます。

複数のプリセットのアイコンを作成する場合は、同様の操作を繰り返しおこなってください。

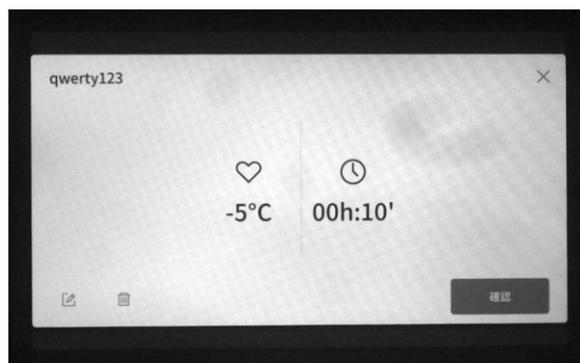


プリセットのアイコンをタップしてください。
プリセットの内容が表示されます。



内容があっいたら『確認』アイコンをタップしてください。

動作画面が表示されます。



選択したトレイにプリセットが割り当てられます。
設定が必要なトレイごとにプリセットを割り当ててください。

同じプリセットを複数のトレイに割り当てることもできます



『開始』アイコンをタップしてからの経過時間
各トレイのプリセットが終了するまでの時間



トレイのサイクルが終了すると、「トレイ準備完了」画面が表示されます。

約10秒経過する、または『維持』アイコンをタップすると表示は消えます。



動作画面のサイクルを終了したトレイには「トレイは次の時間以降に除去可能：」と表示されます。

扉を開けて当該トレイの食材を取り出してください。



再度、同トレイを使用する場合は、表示されている「トレイは次の時間以降に除去可能：」をタップすると設定画面が表示されますので、『トレイを除去』アイコンをタップして1度リセットしてください。



そのあと、同プリセットを割当ててください。

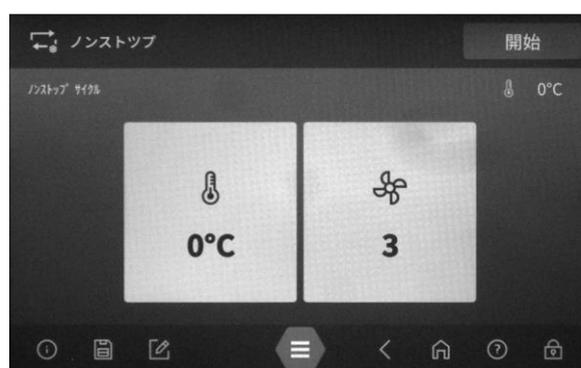
6. 「ノンストップ」を停止する場合は『停止』アイコンをタップしてください

「サイクル停止中」画面が表示されます。



『即停止』アイコンをタップしてください。

「ノンストップ」のサイクルメニュー画面に戻ります。



オリジナルのサイクルメニューを作って保存する

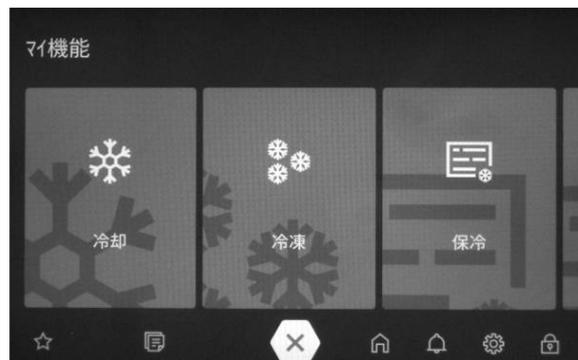
お客様のお好みでオリジナルのサイクルメニューを作ることができます。

作ったサイクルメニューは、保存することができます。

ここでは、お好みのサイクルメニューを作って保存する方法について説明します。

1. お好みのサイクルにあったサイクルグループを選択してください

サイクルメニューの画面を表示させてください。



2. 『 + 』アイコンをタップしてください

新規のサイクルメニューの設定が表示されます。



3. 各フェーズを設定してください

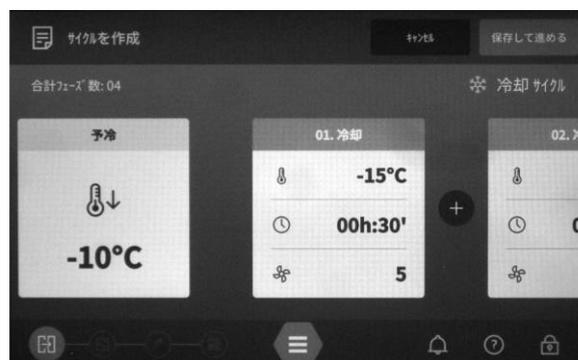
最初は、自動で以下のフェーズが割り当てられています。

「予冷」または「予熱」

フェーズ01

フェーズ02

「保持」



各フェーズは、初期設定値が設定されています。

お好みで設定値を変えてください。

フェーズをタップすると設定画面が表示されます。

冷却、冷凍の場合は「予冷」、加熱、発酵の場合は「予熱」のフェーズも設定を変更することができます。

フェーズを追加する場合は、フェーズとフェーズの間にある『+』アイコンをタップしてください。

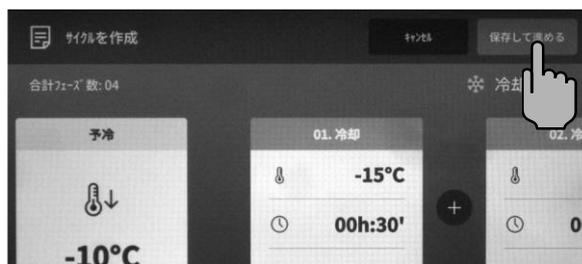


フェーズのアイコンの右上に表示されている『ごみ箱』アイコンをタップするとそのフェーズは削除されます。ただし、「予冷」、「予熱」、フェーズ01、「保持」は削除することができないため、『ごみ箱』アイコンの表示はありません。



設定ができましたら画面右上の『保存して進める』アイコンをタップして設定を確定してください。

「アイコン割当」画面が表示されます。



4. サイクルメニューのアイコンの絵を選択してください

絵の一覧の中から、お好みの絵をタップしてください。

画面右上の『保存して進める』アイコンをタップして設定を確定してください。

『色割当』画面が表示されます。

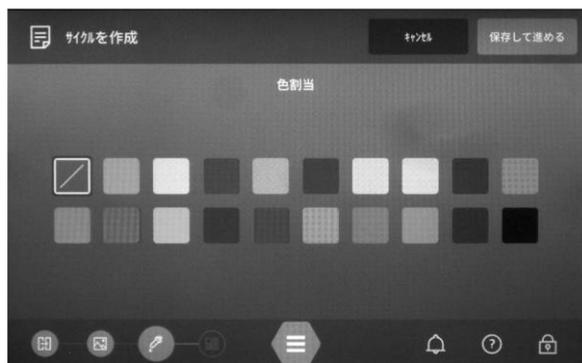


5. サイクルメニューのアイコンの色を選択してください

サイクルメニューのアイコンの右下に色（小さい三角）を表示を設定することができます。

色は、一覧の中からお好みの色をタップしてください。

『』をタップすると、色は設定されません。



画面右上の『保存して進める』アイコンをタップして設定を確定してください。
サイクルメニューの名前と説明の設定画面が表示されます。

6. サイクルメニューの名前と説明を設定してください

各枠内をタップすると入力画面が表示されます。

上の枠は、サイクルメニューの名前の設定です。

下の枠は、サイクルメニューの説明を入力することができます。

サイクルメニューの名前

サイクルメニューの説明



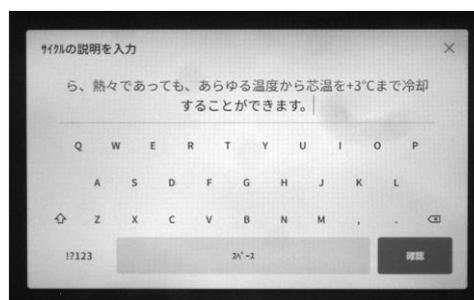
メモ

日本語を使用することはできません。

文字は、大文字、小文字のアルファベット、数字、記号で入力してください。

入力後は、『確認』アイコンをタップして確定してください。

入力が確定されて



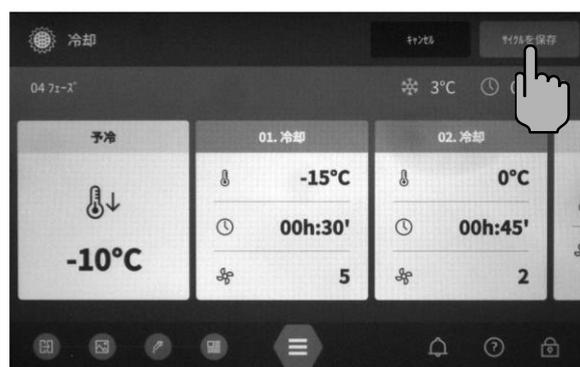
設定後、画面右上の『保存して進める』アイコンをタップして設定を確定してください。
サイクルメニューの画面に戻ります。

7. 保存してください

内容を確認してください。

内容に間違いがなければ、画面右上の『サイクルを保存』アイコンをタップして保存してください。

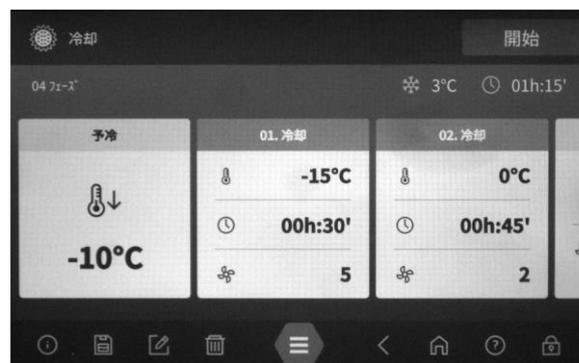
「サイクル作成完了」画面が表示されます。



『サイクルに進む』アイコンをタップして表示を消してください。

作成したサイクルメニューの内容が表示されます。





8. 同サイクルグループのサイクルメニューの一覧の中に、当該サイクルメニューのアイコンがあることを確認してください

既存のサイクルメニューのアイコンはうすい水色ですが、作成されたサイクルメニューのアイコンは白色で表示されます。



これでサイクルメニューアイコンの作成は完了です。

サイクルメニューの編集

サイクルメニューは、設定内容を編集することができます。

既存のサイクルメニューは、編集した上書き保存できませんので、サイクルメニュー名を変えて保存してください。

サイクルメニューのアイコンの絵は、他の絵に変えることができたり、アイコンの右下にお好みの色を割り当てて、調理のグループを色で識別したりすることもできます。

色の割り当ては、ダッシュボード画面やお気に入りにショートカットアイコンを作成したときなどにお使いいただくと更に便利です。

サイクルメニューの絵や色の設定、変更をおこなった場合、ダッシュボード画面や「☆」(お気に入り)のショートカットアイコンに反映されます。

1. 編集するサイクルメニューで『』アイコンをタップしてください

サイクルメニューの編集画面に切り替わります。

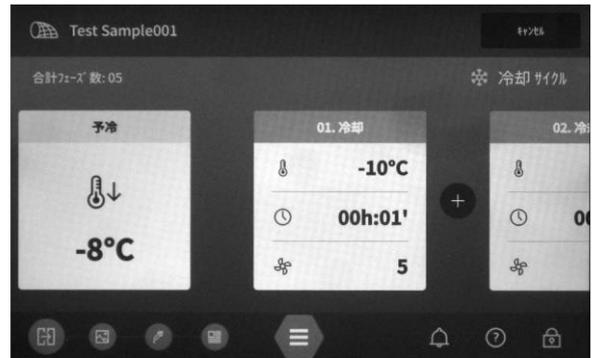


2. 設定を編集してください

お好みで設定値を変えてください。

フェーズをタップすると設定画面が表示されます。

冷却、冷凍の場合は「予冷」、加熱、発酵の場合は「予熱」のフェーズも設定を変更することができます。



変更したい項目の値を変えてください。

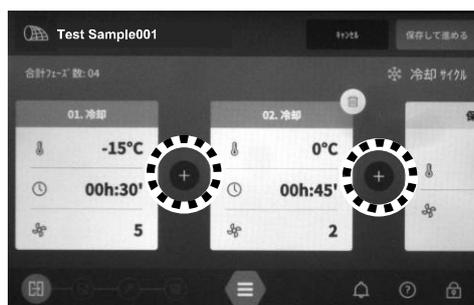
設定項目に『通知を追加』をセットすると、動作中に設定した条件に到達すると通知のお知らせをします。

『通知を追加』を使用する場合、『通知を追加』アイコンをタップして設定項目に条件の値を設定してください。



設定の変更後、画面右上の『保存して進める』アイコンをタップすると、変更を確定し編集画面に戻ります。

フェーズを追加する場合は、フェーズとフェーズの間にある『+』アイコンをタップしてください。

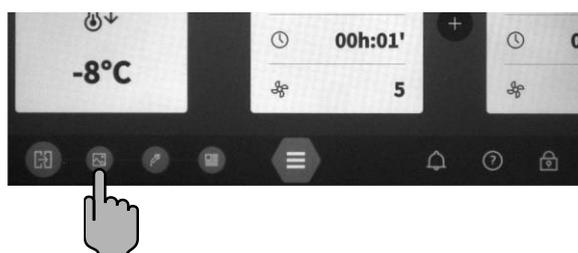


フェーズのアイコンの右上に表示されている『ごみ箱』アイコンをタップするとそのフェーズは削除されます。ただし、「予冷」、「予熱」、フェーズ01、「保持」は削除することができないため、『ごみ箱』アイコンの表示はありません。

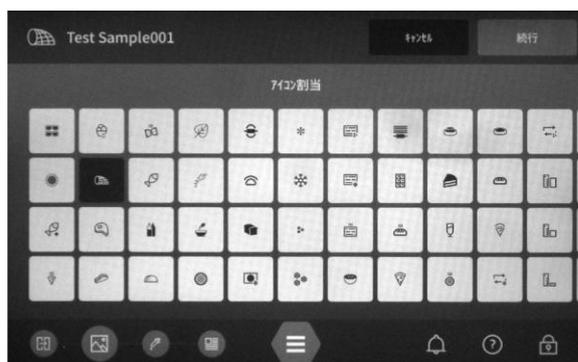


4. お好みにサイクルメニューのアイコンの絵に変更してください

画面下の『🗑️』アイコンをタップしてください。
「アイコン割当」画面が表示されます。



絵の一覧の中から、お好みの絵をタップしてください。



5. お好みにサイクルメニューのアイコンの色を変更してください

画面下の『🎨』アイコンをタップしてください。
サイクルメニューのアイコンの右下に色（小さい三角）を変更することができます。



色は、一覧の中から好みの色をタップしてください。

『』をタップすると、色は設定されません。



6. お好みにサイクルメニューの名前と説明を変更してください

画面下の『』アイコンをタップしてください。

各枠内をタップすると入力画面が表示されます。



上の枠は、サイクルメニューの名前の設定です。

サイクルメニューの名前を変えた場合、編集した内容は別のサイクルメニュー名で保存されます。

下の枠は、サイクルメニューの説明を入力することができます。

サイクルメニューの名前

サイクルメニューの説明



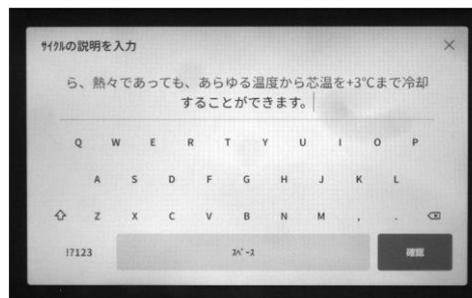
メモ

日本語を使用することはできません。

文字は、大文字、小文字のアルファベット、数字、記号で入力してください。

入力後は、『確認』アイコンをタップして確定してください。

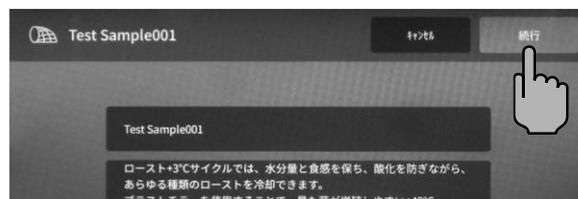
入力が確定されて入力画面が消えます。



7. 編集を保存してください

画面右上の『続行』アイコンをタップして編集を確定してください。

確認の画面が表示されます。



『上書き』アイコンをタップして、編集サイクルメニューに上書き保存してください。

「サイクル保存完了」画面が表示されます。



『サイクルに進む』アイコンをタップしてください。

サイクルメニューの画面に戻ります。



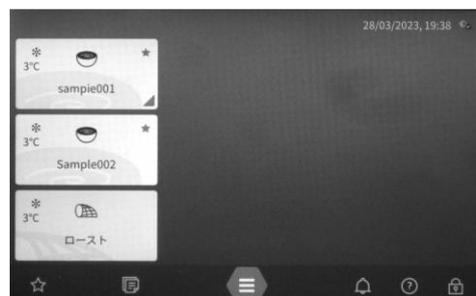
これでサイクルメニューの編集は完了です。

ダッシュボード画面にサイクルメニューのショートカットアイコンを作る

よく使用するサイクルメニューは、ダッシュボード画面にショートカットアイコンを作ることで探す手間をはぶくことができます。

ここでは、ダッシュボード画面にショートカットアイコンを作る方法について説明します。

右の画面は、ダッシュボード画面にサイクルメニューのショートカットアイコンを作った場合の画面です。



1. ショートカットアイコンを作るサイクルメニューアイコンをタップしてください

サイクルメニューの設定内容が画面に表示されます。



2. 画面下の『📄』アイコンをタップしてください

「サイクル保存先：」の画面が表示されます。



3. 『DASHBOARD』をタップしてください

「サイクル保存完了」画面が表示されます。

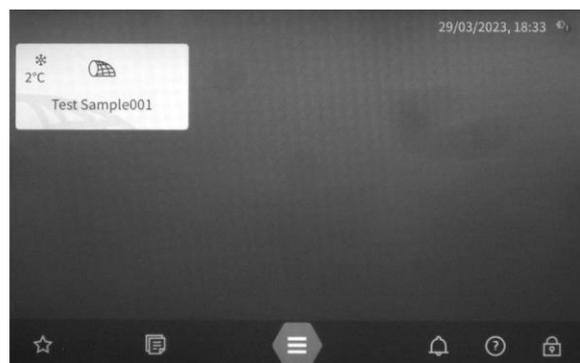


4. 『ダッシュボードに移動』アイコンをタップしてください

ダッシュボード画面に切り替わります。



ダッシュボード画面にアイコンが表示されていることを確認してください。

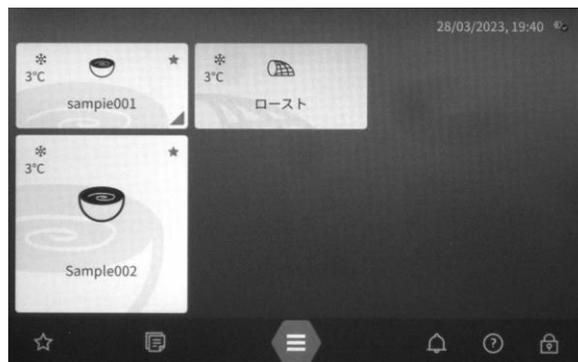


ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンの配置を変える

ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンは、配置を変えることができます。

サイクルメニューのショートカットアイコンは、ダッシュボードの左上から詰めて配置されるため、空いている任意の場所に配置することはできません。

1. ダッシュボード画面を表示させてください



2. 画面の任意の場所を約2秒間長押ししてください

各サイクルメニューアイコンの右上に、『ごみ箱』アイコンが表示され、変更が可能になります。



3. サイクルメニューアイコンの配置を変えてください

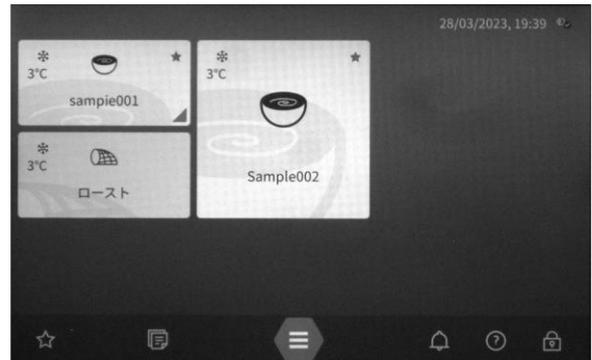
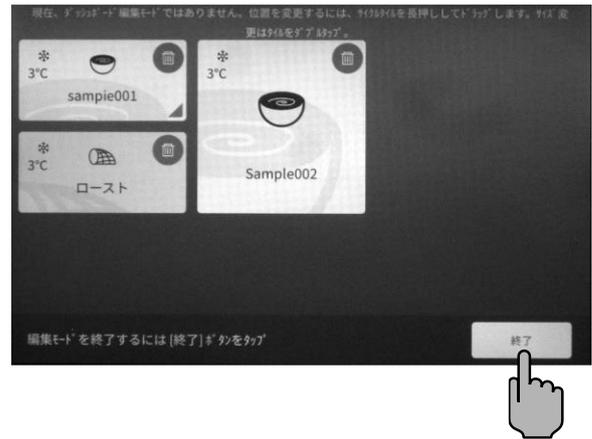
配置を変えるサイクルメニューアイコンをタップしながら、任意の場所へ移動させてください。





4. アイコンの配置が決まりましたら『終了』アイコンをタップしてください

配置が確定され、通常のダッシュボード画面に戻ります。

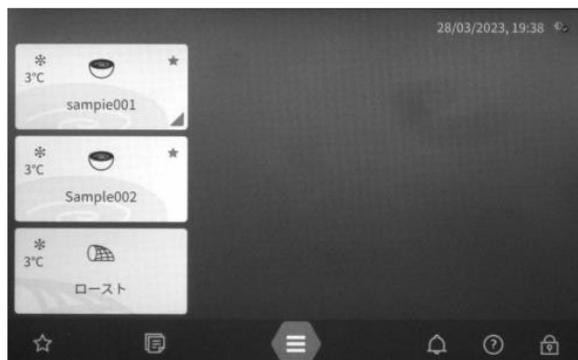


ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンのサイズを切り替える

ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンは、大サイズまたは小サイズに切り替えることができます。

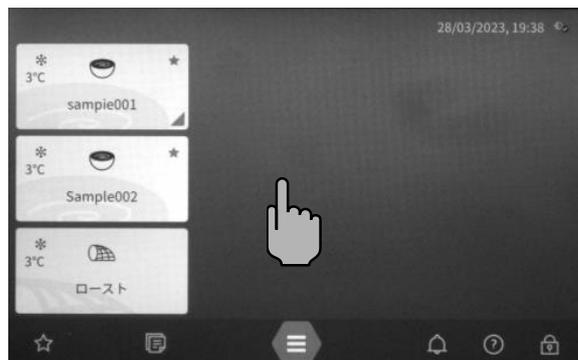
アイコンのサイズを切り替えると、他のショートカットアイコンの配置が変わります。

1. ダッシュボード画面を表示させてください



2. ダッシュボード画面の任意の場所を約2秒間長押ししてください

各サイクルメニューアイコンの右上に、『ごみ箱』アイコンが表示されます。



3. サイズを切り替えたいアイコンを2回タップしてください

アイコンのサイズが切り替わります。

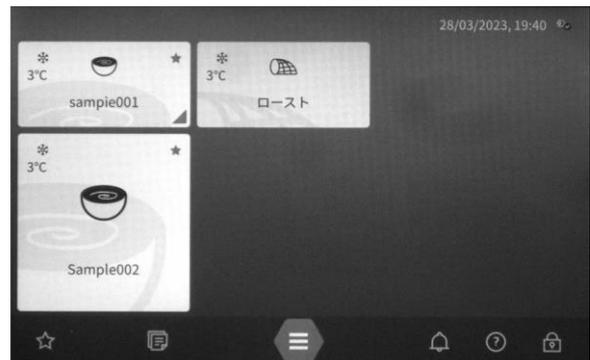
サイズを切り替えるアイコンが複数ある場合は、この作業を繰り返しおこなってください。





4. 終了するには『終了』アイコンをタップしてください

通常のダッシュボード画面に戻ります。



ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンを削除する

ダッシュボード画面のサイクルメニューのショートカットアイコンは、削除することができます。

ダッシュボード画面のショートカットアイコンを削除しても、サイクルグループに保存されているサイクルメニューアイコン自体（設定内容を含む）は削除されません。

1. ダッシュボード画面を表示させてください



2. 画面の任意の場所を約2秒間長押ししてください

各サイクルメニューアイコンの右上に、『ごみ箱』アイコンが表示されます。

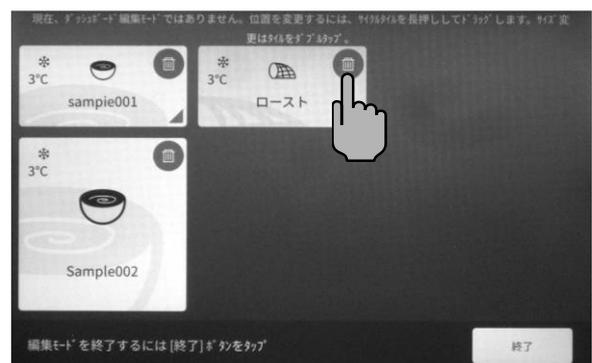


3. 削除したいアイコンの『ごみ箱』アイコンをタップしてください

削除するかの確認画面が表示されます。

『ゴミ箱』アイコンをタップすると、ダッシュボード画面からサイクルメニューのアイコンが消えます。

削除するアイコンが複数ある場合は、この作業を繰り返しおこなってください。





4. アイコンの削除ができましたら『終了』アイコンをタップしてください

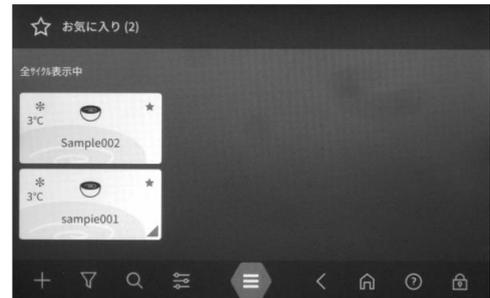
通常のダッシュボード画面に戻ります。



よく使用するサイクルメニューを「☆」(お気に入り)に登録する

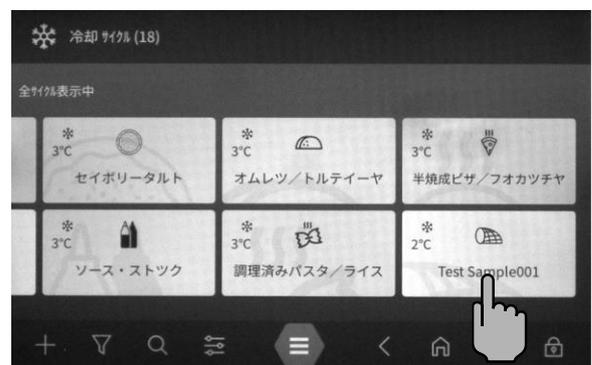
よく使用するサイクルメニューは、「☆」(お気に入り)に登録することで、「☆」画面から容易に探しやすくなります。

右の画面は、「☆」(お気に入り)にサイクルメニューのショートカットアイコンを作った場合の画面です。



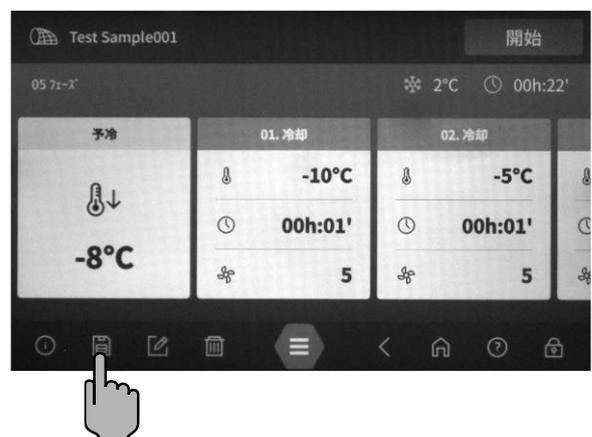
1. 「☆」(お気に入り)に登録するサイクルメニューアイコンをタップしてください

サイクルメニューの設定内容が画面に表示されます。



2. 画面下の『📁』アイコンをタップしてください

「サイクル保存先:」の画面が表示されます。



3. 『FAVOURITES』をタップしてください

「サイクル保存完了」画面が表示されます。



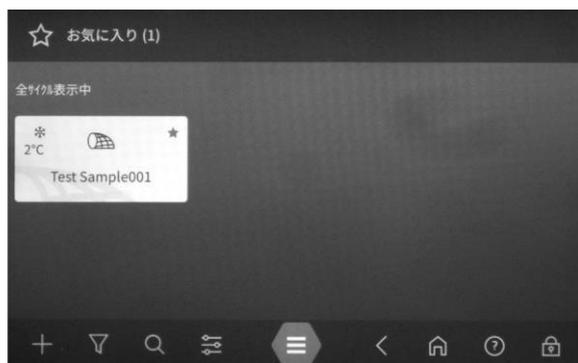
4. 『お気に入り』に移動する』アイコンをタップしてください

「☆」(お気に入り)画面に切り替わります。



「☆」(お気に入り)にアイコンが表示されていることを確認してください。

「☆」(お気に入り)に登録されたアイコンは、右上に「☆」が付きます。



メモ

「☆」(お気に入り)のショートカットアイコンは、ダッシュボード画面のショートカットアイコンのような、アイコンのサイズを切り替えたり、アイコンの配置を変えたりすることはできません。

「☆」(お気に入り)に登録されているサイクルメニューのショートカットアイコンを削除する

「☆」(お気に入り)に登録されているサイクルメニューのショートカットアイコンは、削除することができます。

「☆」(お気に入り)に登録されているショートカットアイコンを削除しても、サイクルグループに保存されているサイクルメニューアイコン自体(設定内容を含む)は削除されません。

1. 「☆」(お気に入り)の画面を表示させてください

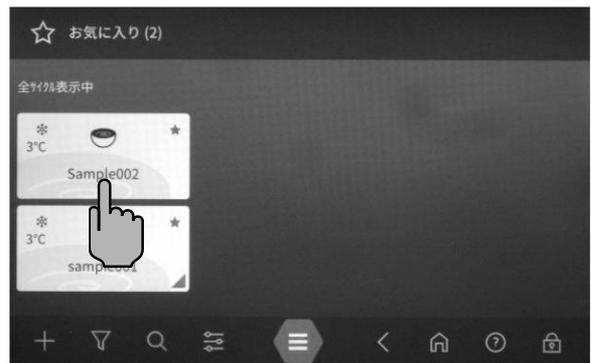
ダッシュボード画面、またはサイクルグループの一覧が表示されている画面で、画面左下の『☆』アイコンをタップしてください。

「☆」(お気に入り)の画面が表示されます。



2. いずれかのサイクルメニューのショートカットアイコンを約2秒間長押ししてください

各サイクルメニューアイコンの右上に、『ごみ箱』アイコンが表示されます。



3. 削除したいアイコンの『ごみ箱』アイコンをタップしてください

削除するかの確認画面が表示されます。

『ゴミ箱』アイコンをタップすると、「☆」(お気に入り)画面からサイクルメニューのアイコンが消えます。

削除するアイコンが複数ある場合は、この作業を繰り返しおこなってください。



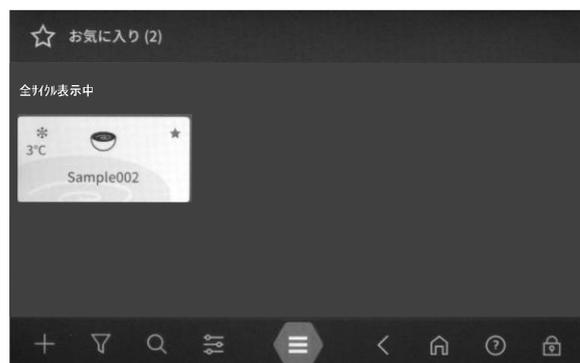
メモ

全てのサイクルのショートカットアイコンを削除したい場合は、画面右上の『全て消去』アイコンをタップすると、「☆」(お気に入り)画面のサイクルのアイコンは全て削除されます。



4. アイコンの削除ができましたら『終了』アイコンをタップしてください

通常のダッシュボード画面に戻ります。



サイクルメニューの検索

本機には、サイクルメニューの検索機能があります。

サイクルメニューの一覧画面、または「☆」(お気に入り)の画面で、該当サイクルメニューを探す場合にご使用いただけます。

検索機能には3種類の方法があります。

ここでは、それぞれの検索方法について説明します。

『▽』を使ってサイクルメニューを検索する場合

サイクルメニューの一覧画面、または「☆」(お気に入り)の画面で、画面下の『▽』をタップしてください。

「サイクルをフィルター」画面が表示されます。



『ユーザーサイクル』をタップし、『進める』アイコンをタップすると、同サイクルグループ内で、お客様が作成したサイクルメニューのみが全て表示されます。

『IRINOXサイクル』をタップし、『進める』アイコンをタップすると、同サイクルグループ内で、本機に既存で入っているサイクルメニューが全て表示されます。



メモ

日本語のサイクルメニューの名前にはお使いいただけません。

『🔍』を使ってサイクルメニューを検索する場合

サイクルメニューの一覧画面、または「☆」(お気に入り)の画面で、画面下の『🔍』をタップしてください。

入力画面が表示されます。



サイクルメニューの名前などを入力して検索してください。

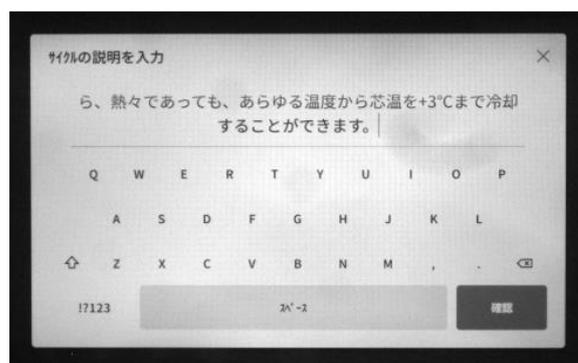
メモ

日本語を使用することはできません。

日本語のサイクルメニューの名前は検索することはできません。

文字は、大文字、小文字のアルファベット、数字、記号で入力してください。

入力後は、『確認』アイコンをタップして確定してください。



『🔍』を使ってサイクルメニューを検索する場合

サイクルメニューの一覧画面、または「☆」(お気に入り)の画面で、画面下の『🔍』をタップしてください。

検索の選択画面が表示されます。



「アルファベット順にソート」

サイクルメニューの名前をアルファベット順に並べ変えます。

メモ

日本語のサイクルメニューの名前にはお使いいただけません。



「使用頻度でソート(高い - 低い)」

サイクルメニューを使用頻度が最も多い、または最も少ないサイクルメニューから順に並べ替えます。

「最新の完了順にソート」

最近使用したサイクルメニューから順に並べ替えます。

各サイクルグループについて

サイクルグループの種類には以下のものがあります。

セクター(使用区分)によって、使用できるサイクルグループが違います。

セクター(使用区分)の切り替えかたについては、「本機のセクター(使用区分)を切り替える」(72ページ)を参照してください。

アイコン	サイクルグループ	サイクル概要
	冷却	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>高温の食材を+3℃(お客様で設定温度の変更可能)まで急速に冷却します。</p> <p>芯温プローブを使用することで、サイクル中の食材の中心温度の情報を読み取ります。</p> <p>このサイクルは最大90分以内で完了します。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予冷：-20℃～20℃ 冷却：-20℃～20℃、 芯温：0℃～60℃ 型抜：0℃～20℃、 芯温：0℃～60℃ 保持：0℃～20℃
	冷凍	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>高温の食材を-18℃(お客様で設定温度の変更可能)まで急速に冷却します。</p> <p>芯温プローブを使用することで、サイクル中の食材の中心温度の情報を読み取ります。</p> <p>このサイクルは最大240分以内で完了します。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予冷：-35℃～20℃ 冷却：-35℃～20℃、 芯温：-25℃～60℃ 型抜：5℃～20℃ 保持：-35℃～15℃
	ノンストップ	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>「冷凍」や「冷却」のサイクルを連続でおこない(『停止』アイコンをタップするまで)その間、調理する食材の投入、調理済み食材の取出しを連続しておこなうことができます。</p> <p>タイマー設定により、各食材の投入、取出しのタイミングをアラームでお知らせします。</p> <p>冷却のサイクルの設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷却：-10℃～10℃、 芯温：3℃～60℃ <p>冷凍のサイクルの設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 冷却：-35℃～-10℃、 芯温：-20℃～60℃

アイコン	サイクルグループ	サイクル概要
	保冷	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>作業者が停止、または変更するまで、設定した温度で食材を保冷し続けます。</p> <p>設定可能範囲 予冷：-25℃～10℃ 保持：-25℃～10℃</p>
	保温	<p>対象セクター：調理法</p> <p>作業者が停止、または変更するまで、設定した温度で食材を保温し続けます。</p> <p>設定可能範囲 予熱：10℃～75℃ 保持：10℃～75℃</p>
	解凍	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー</p> <p>冷凍された食材を解凍します。</p> <p>解凍の方法には、以下の2通りの方法があります。</p> <p>『開始』アイコンをタップして即解凍のサイクルを開始する方法 解凍終了の日時を設定し、『開始』アイコンをタップして設定した日時に解凍のサイクルを完了させる方法 食材を-18℃で保冷し、適切な時刻になると解凍のサイクルを開始し、設定した時刻に解凍のサイクルを完了します。</p> <p>設定可能範囲 予冷：-25℃～10℃ 冷却：-25℃～10℃、 芯温：-20℃～10℃ 加熱：-20℃～50℃、 芯温：-10℃～10℃ 保持：0℃～10℃</p>
	提供可(再加熱)	<p>対象セクター：調理法、アイスクリーム</p> <p>冷却、または冷凍された食材を加熱します。</p> <p>+3℃、または-18℃の食材を約65℃まで加熱します。</p> <p>再加熱の方法には、以下の2通りがあります。</p> <p>『開始』アイコンをタップして即再加熱のサイクルを開始する方法 再加熱終了の日時を設定し、『開始』アイコンをタップして設定した日時に再加熱のサイクルを完了させる方法 食材を+3℃、または-18℃で保冷し、適切な時刻になると再加熱のサイクルを開始し、設定した時刻に再加熱のサイクルを完了します。</p> <p>設定可能範囲 予冷：-20℃～40℃ 冷却：-25℃～15℃、 芯温：-20℃～10℃ 加熱：-20℃～85℃、 芯温：-15℃～75℃ 保持：-15℃～70℃</p>

アイコン	サイクルグループ	サイクル概要
	直接発酵	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>パン生地などの発酵に適した温度を保ちます。</p> <p>設定可能範囲</p> <p>予熱：30℃～50℃ 冷却：-35℃～10℃、 芯温：-25℃～35℃ 加熱：-20℃～50℃、 芯温：-10℃～40℃ 乾燥：30℃～60℃ 保持：-25℃～40℃</p>
	プログラムされた発酵	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー</p> <p>冷凍パン生地などの発酵に適した温度を維持します。</p> <p>この発酵の方法には、以下の2通りがあります。</p> <p>『開始』アイコンをタップして即発酵のサイクルを開始する 発酵終了の日時を設定し、『開始』アイコンをタップして設定した日時に発酵のサイクルを完了させる 冷凍パン生地などを+3℃、または-18℃で保冷し、適切な時刻になると加熱を開始し、次に発酵のサイクルを開始、設定した時刻に発酵のサイクルを完了します。</p> <p>設定可能範囲</p> <p>予熱：-35℃～10℃ 冷却：-35℃～10℃、 芯温：-25℃～35℃ 加熱：-20℃～50℃、 芯温：-10℃～40℃ 乾燥：30℃～60℃ 保持：-25℃～40℃</p>
	遅延発酵	<p>対象セクター：ペストリー、ベーカリー</p> <p>パン生地などの発酵に適した温度を維持します。</p> <p>この発酵の方法には、以下の2通りがあります。</p> <p>『開始』アイコンをタップして即発酵のサイクルを開始する 発酵終了の日時を設定し、『開始』アイコンをタップして設定した日時に発酵のサイクルを完了させる パン生地などを、発酵を抑える温度で保冷し、適切な時刻になると加熱を開始し、次に発酵のサイクルを開始、設定した時刻に発酵のサイクルを完了します。</p> <p>設定可能範囲</p> <p>予熱：-35℃～10℃ 冷却：-35℃～10℃、 芯温：-25℃～35℃ 加熱：-20℃～50℃、 芯温：-10℃～40℃ 乾燥：30℃～60℃ 保持：-25℃～40℃</p>

アイコン	サイクルグループ	サイクル概要
	チョコレート	<p>対象セクター：ペストリー、アイスクリーム</p> <p>チョコレートを約45℃の温度で加熱し溶かします。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予冷：-35℃～15℃ 予熱：15℃～60℃ 冷却：-35℃～15℃ 加熱：15℃～60℃、 芯温：0℃～50℃ 乾燥：15℃～60℃ 保持：-25℃～60℃
	低温殺菌	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、アイスクリーム</p> <p>アイスクリームやジェラートの生地を約85℃で加熱し、バクテリアなどの殺菌をおこないます。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予熱：30℃～85℃ 冷却：-35℃～50℃、 芯温：-25℃～60℃ 加熱：30℃～85℃、 芯温：-15℃～75℃ 発酵：50℃～85℃ 保持：-35℃～10℃
	乾燥	<p>対象セクター：ペストリー</p> <p>約70℃で食材(メレンゲなど)を乾燥させます。</p> <p>この機能は、サイクルの動作中、扉を開けておく必要があります。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予熱：30℃～85℃ 加熱：30℃～85℃、 芯温：50℃～75℃ 乾燥：30℃～85℃ 保持：30℃～85℃
	低温調理	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>低温で長時間加熱調理します。</p> <p>肉などは、強火で調理するよりも重量ロスを抑えることができ、柔らかく、色味よく、美味しく仕上がります。</p> <p>肉汁を逃さず、素材の美味しさを引き立てます。</p> <p>食材のビタミンなどの栄養素も保持されます。</p> <p>肉の繊維質がほぐれます。</p> <p>設定可能範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 予熱：30℃～85℃ 冷却：-35℃～50℃、 芯温：-25℃～60℃ 加熱：30℃～85℃、 芯温：-15℃～75℃ 発酵：40℃～85℃、 芯温：40℃～75℃ 保持：-35℃～85℃

アイコン	サイクルグループ	サイクル概要
	霜取り	<p>対象セクター：調理法、ペストリー、ベーカリー、アイスクリーム</p> <p>本機の庫内を衛生的に保つためと、本機の性能維持のため、本機の使用後は必ずおこなってください。</p> <p>「霜取り」は、庫内のドレンキャップを取り外し、扉を開けた状態でおこなってください。</p>

HACCPにサイクルの詳細を記録する

本機は、サイクル動作中の温度や扉の開閉回数、発生したアラームのアラームコードなどが、HACCPデータとして自動で保存されます。

サイクル動作終了後、処理した食材の大きさ、食材の重量など、よりサイクルの詳細な情報をHACCPデータに追加で記録することができます。

記録するHACCPデータは、作業をおこなった担当者名などで分けて管理することもできます。

HACCPデータは、名前を付けて管理することができます。

1. サイクル終了後、画面の表示で『HACCP 記録』をタップしてください

「HACCP 記録」画面が表示されます。



2. 各情報を入力してください

使用した担当者名
サイクルメニュー名
食材の重量
食材の厚み



使用した担当者名

「使用した担当者名」の枠部分をタップすると名前の選択画面が表示されます。

該当する名前のアイコンをタップしてください。

該当する名前のアイコンがない場合は、新しくアイコンを作ってください。

新しくアイコンを作る場合は、『追加』アイコンをタップしてください。

入力画面が表示されますので、名前を入力して『確認』アイコンをタップして保存してください。

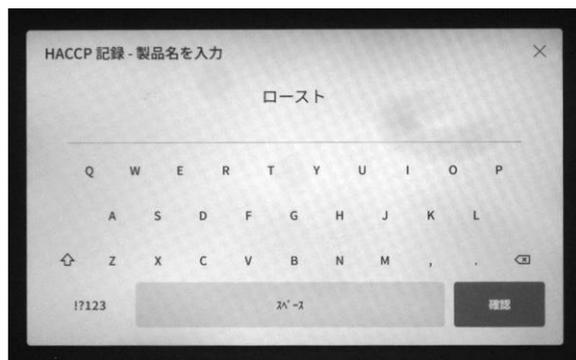


『確認』アイコンをタップして確定してください。

サイクルメニュー名

サイクルメニュー名を変更する場合は、「サイクルメニュー名」の枠部分をタップするとサイクルメニュー名の入力画面が表示されます。

サイクルメニュー名を変更する場合は、新しく名前を入力して『確認』アイコンをタップして確定してください。



食材の重量

食材の重量を入力する場合は、『0.0kg』部分をタップすると「HACCPの重量設定」画面が表示されます。

重量の値を入力して、『✓』をタップして確定してください。



食材の厚み

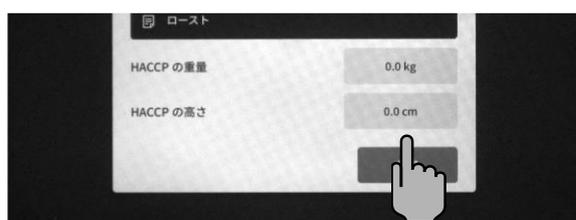
食材の厚みを入力する場合は、『0.0kg』部分をタップすると「HACCPの高さ設定」画面が表示されます。

食材の厚みの値を入力して、『✓』をタップして確定してください。



3. 『記録』アイコンをタップして情報を記録してください

「HACCPデータ記録完了」画面が表示されます。



4. 『OK、続行』アイコンをタップして終了してください

HACCPへの詳細の追加記録は完了です。



庫内の霜取りのしかた

庫内の蒸発器やファン、温度センサーなどに霜が多量に付着しますと、冷却や冷凍が正常におこなわれなくなります。

『霜取り』は、1日の業務終了後におこなってください。

『クイック霜取り』は、サイクル終了後、次のサイクルをおこなうまでの間などにご使用いただくこともお勧めします。

警告



庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

1. 本機の扉を開けてください

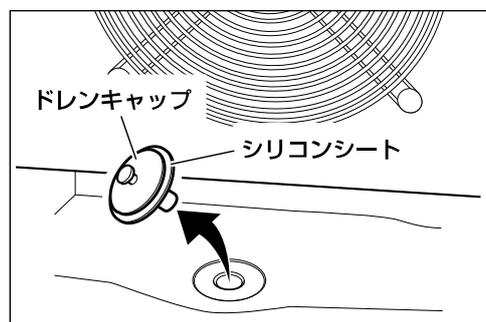
霜取り(デフロスト)中は、本機の扉を開けておいてください。

扉が閉まっている状態で、『開始』アイコンをタップして霜取りを開始してもブザーが鳴り、ディスプレイにはアラームコード「クローズドアラーム(A29)」が表示され、本機は霜取り(デフロスト)を始めません。

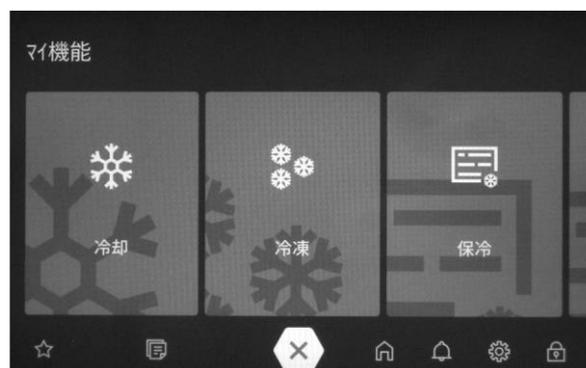
2. ドレンキャップ (シリコンシート付) を外してください

庫内底部にある排水口からドレンキャップ (シリコンシート付) を取り外してください。

霜取り(デフロスト)をおこなって、霜が溶けて水になりますと、排水口から本体下部のドレンパンに流れ落ちます。



3. サイクルグループ一覧の画面を表示させてください



4. 「霜取り」のサイクルグループアイコンをタップしてください

「霜取り」のサイクルメニューアイコンの一覧画面が表示されます。



霜取りのサイクルメニューアイコンは、2種類あります。

『霜取り』アイコン

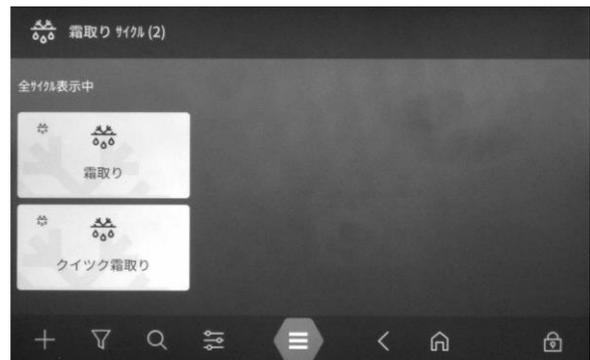
30分間霜取りをおこないます。

1日の業務終了後におこなってください。
時間は、設定変更することができます。

『クイック霜取り』アイコン

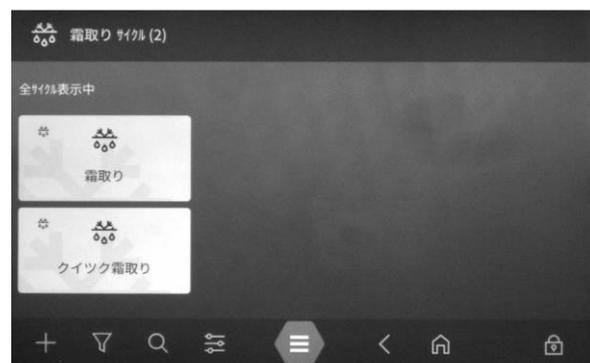
庫内の温度が8℃以上になると、霜取りを終了します。

サイクル終了後、次のサイクルをおこなうまでの間などにご使用いただくことをお勧めします。



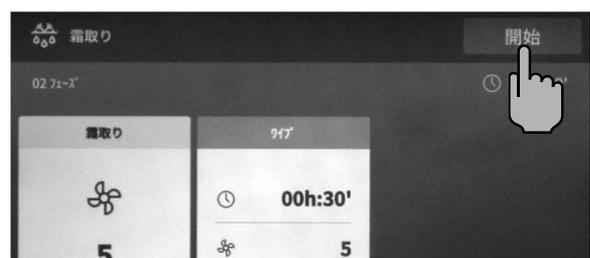
5. お好みの霜取りサイクルメニューのアイコンをタップしてください

サイクルの内容が表示されます。



6. 『開始』アイコンをタップしてください

庫内ファンが回転し、霜取り（デフロスト）が始まります。



画面に残りの霜取り時間(カウントダウン)が表示されます。

霜取り(デフロスト)中でも、「霜取り」のフェーズと「ワイプ」は、風量と時間の設定を変更することができます。



お願い

霜取り(デフロスト)中は、本機の扉を開けておいてください。

霜取り(デフロスト)中、本機の扉を閉めると霜取り(デフロスト)を中断し、ブザーが鳴ります。残り時間のカウントダウンも停止し、ディスプレイには「アラーム」「クローズドアラーム(A29)」が表示されます。扉を開けると、霜取り(デフロスト)は、継続しておこなわれます。

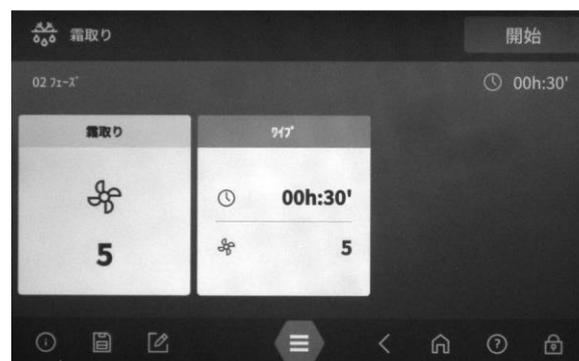


霜取り(デフロスト)を途中で止めたいときは、『停止』アイコンをタップすると、霜取り(デフロスト)を終了します。

「霜取り」の場合は、設定した時間になると、霜取り(デフロスト)を終了します。

「クイック霜取り」の場合は、庫内の温度が8℃以上になると、霜取りを終了します。

ディスプレイは、サイクルメニューの画面に戻ります。



7. 庫内の底に残っている水などは、布などで拭き取ってください

8. 庫内の排水口にドレンキャップ（シリコンシート付）を取り付けてください

9. 本機の扉を閉めてください

10. ドレンパンに溜まった水などを捨ててください

本体下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、溜まっている水などを捨ててください。

ドレンパンは中性洗剤を使って洗浄し、乾いた布で水分を拭き取ってから、本体下部に元通り取り付けてください。

各設定値を変更する

ここでは、表示される言語や時計、表示単位、温度データの記録の設定などを変更するユーザーパラメーターについて説明します。

設定

情報

情報には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
システムバージョン	—	本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。 → 71ページ
更新が入手不可	—	—

一般

一般の設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
会社名(AP01)	—	設定を変更しないでください。
ラボ名(AP02)	—	設定を変更しないでください。
マシンID(AP03)	—	設定を変更しないでください。
地域(AP04)	アジア	設定を変更しないでください。
Country(AP06)	Japan	設定を変更しないでください。
セクター(AP05)	調理法	本機を使用区分「調理法」「ペストリー」「ベーカリー」「アイスクリーム」のいずれかに切り替えることができます。 → 72ページ

接続方法

接続方法の設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
WIFI	—	設定を変更しないでください。
MODBUS SLAVE	有効	設定を変更しないでください。

日時

日時の設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
日付	—	現在の日付に設定してください。 日/月/年 3日以上、本機の電源を『ON(入)』にしないと初期設定の日付に戻ります。 → 74ページ
時間	—	現在の時刻に設定してください。 時：分 3日以上、本機の電源を『ON(入)』にしないと初期設定の時刻に戻ります。 → 74ページ
日付形式(DT02)	—	「DD/MM/YYYY」と「MM/DD/YYYY」から選択してください。 → 74ページ
時間形式(DT03)	—	時間の表示形式を「24h」と「12h」から選択してください。 → 74ページ
タイムゾーン(DT01)	—	設定を変更しないでください。
NTP有効化(DT04)	<input type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。
サーバー1(DT05)	—	設定を変更しないでください。
サーバー2(DT06)	—	設定を変更しないでください。

ディスプレイとサウンド

ディスプレイの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
言語(DP01)	日本語	画面に表示される言語を切り替えることができます。 → 77ページ
測定単位(DP02)	°C/kg/cm	温度、重量、大きさの単位をアメリカの単位に切り替えることができます。 °C/kg/cm ⇔ °F/oz/inch
バックライト(DP03)	6	画面の明るさを設定することができます。
LEDバー有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。 ディスプレイ下にあるLEDのゲージです。 <input checked="" type="checkbox"/> にしていると、画面の表示が消えている間、サイクルの進行度合いをゲージとして表示されます。
ブザー音量(DP09)	—	各フェーズ終了時やサイクルの終了時、アラームコード表示時に鳴るアラーム音の音量を変えることができます。 → 79ページ
「ブザーをテスト」	—	タップすると上記の「ブザー音量(DP09)」で設定した音量でブザーが鳴ります。

プリンター

プリンターの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
タイプ(LB01)	No	設定を変更しないでください。 「No」 「USB」 「Wifi」 「イーサネット」

ユーザー

ユーザーの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
パスコード有効化 (US01)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> に切り替えると、ロック画面をパスワードによりロックをかける。

サイクル

サイクルの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
輸出	—	本機にUSBメモリーを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリーなどにサイクルのバックアップを保存する。
インポート	—	本機にUSBメモリーを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリーなどにバックアップとして保存したサイクルを本機にインストールする。

HACCP

HACCPの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
HACCP有効 (HP01)	「無効」	サイクルの動作中の温度データなどを本機内のメモリーに保存する設定です。 「無効」 : 保存しない 「サイクル」 : 調理のサイクルのデータのみを保存する 「サイクル+保持」 : 調理のサイクルと「保持」のデータを保存する
周期(HP02)	3min	上記の「HACCP有効」を「サイクル」または「サイクル+保持」に設定したときのみ設定することができます。
「レポートを エクスポート」	—	本機にUSBメモリーを接続しているときのみ使用可能。 お手持ちのUSBメモリーなどにサイクルのバックアップを保存する。
「レポートを 削除」	—	本機内のメモリーに保存されている温度データなどを消去します。

クラウド

クラウドの設定には以下の項目があります。

設定項目	値	設定内容
アクティベーション コード(US01)	機械毎の コード番号	機械毎に割り振られているコード番号です。 設定を変更しないでください。

コアプローブ

コアプローブの設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
メインコアプローブ (CP01)	<input checked="" type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。 標準装備の芯温プローブを <input checked="" type="checkbox"/> (使用)、または <input type="checkbox"/> (使用しない)を設定します。
オプションプローブ 1 (CP02)	<input type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。
オプションプローブ 2 (CP03)	<input type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。

消毒

消毒の設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
即応性(SN01)	2	設定を変更しないでください。

規則

規則の設定には以下の項目があります。

設定項目	初期値	設定内容
自動モード(RG03)	<input checked="" type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。
サイクル期間の見積もり(RG04)	<input checked="" type="checkbox"/>	設定を変更しないでください。
最大時間ライト (RG21)	10min	設定値を変更しないでください。
遅延ライト OFF(RG21)	2s	設定値を変更しないでください。
時間蒸発器電取り (RG29)	5min	設定値を変更しないでください。

入出力

入出力の設定には以下の項目があります。

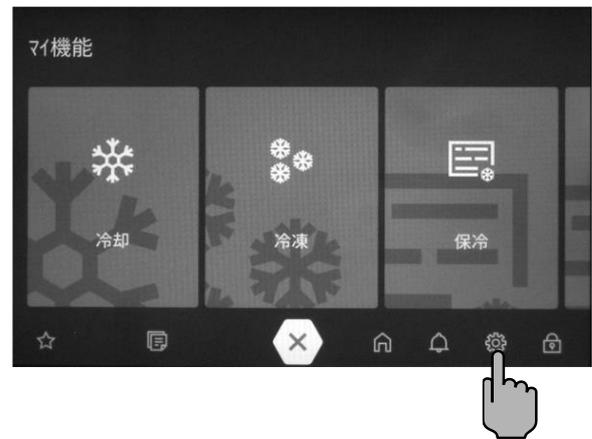
設定項目	初期値	設定内容
MONITOR	—	設定を変更しないでください。

システムのバージョンを確認

本機のシステムのバージョンを確認することができます。

1. サイクルグループ画面右下の『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. システムのバージョンを確認してください

「システムバージョン」の枠内に表示されているのが、現在のシステムのバージョンになります。



3. 『』をタップしてサイクルグループ一覧の画面、または『』をタップしてダッシュボード画面に戻ってください

本機のセクター(使用区分)※を切り替える

※セクター(使用区分)は以降、セクターとします。

本機は、セクターを切り替えることができます。

セクターにより、使用できるサイクルグループ、サイクルメニューの種類が異なります。

サイクルグループの種類については、「各サイクルグループについて」(56ページ)を参照してください。

セクターには、以下の4種類があります。

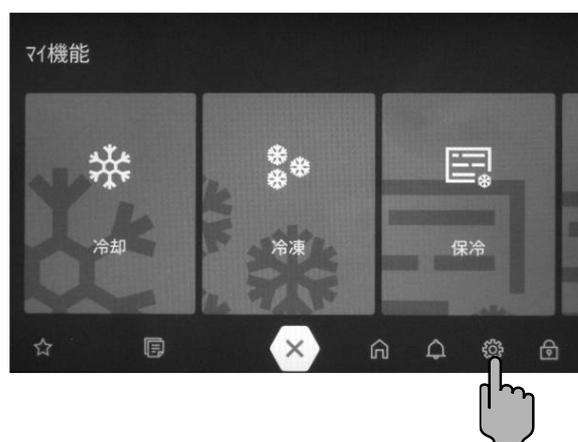
「調理法」	……レストラン向け
「ペストリー」	……製菓向け
「ベーカリー」	……製パン、製菓向け
「アイスクリーム」	……アイスクリーム、ジェラート向け

工場出荷時のセクターは「調理法」(レストラン向け)に設定されています。

ここでは、セクターの切り替え方法について説明します。

1. サイクルグループ画面右下の『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. 『一般』をタップしてください

「一般」の設定項目が表示されます。



3. セクターを切り替えてください

「セクター(AP05)」のセクターが表示されている枠内をタップすると、セクターの一覧が表示されます。

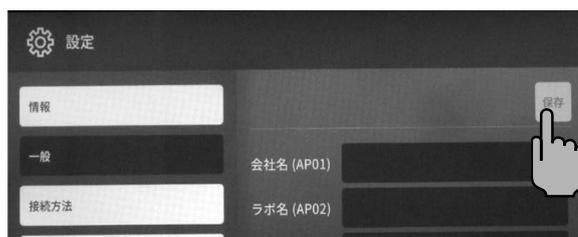
好みのセクターをタップしてください。

『保存』アイコンをタップして確定してください。

『保存』アイコンをタップしないと変更は確定されません。



「構成保存完了」画面が表示されます。



『OK』アイコンをタップして表示を消してください。



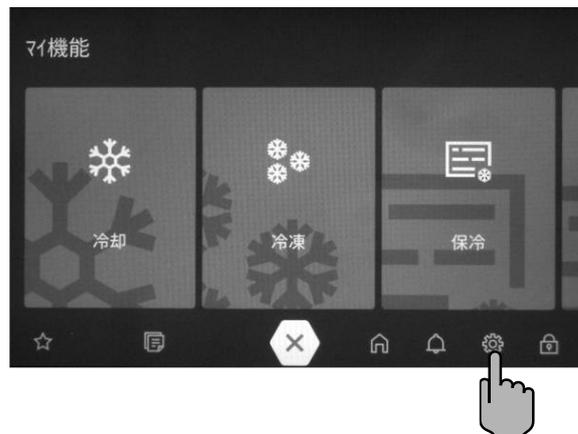
4. 『☰』をタップしてサイクルグループ一覧の画面、または『🏠』をタップしてダッシュボード画面に戻ってください

日時の変更

ダッシュボード画面などに表示される日付や時間を変更する必要がある場合、設定変更してください。

1. サイクルグループ画面右下の『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. 『日時』をタップしてください

「日時」の設定項目が表示されます。



3. 日付または時間を変えてください

日付を変更する場合

「日付」の年月日が表示されている枠内をタップすると、カレンダーが表示されます。

任意の日付をタップしてください。

『確認』アイコンをタップしてください。



日付形式を変更する場合

日付形式の表示は以下の2種類から選択できます。

「DD/MM/YYYY」：日/月/年(西暦)

「MM/DD/YYYY」：月/日/年(西暦)

「日付形式」の枠内をタップすると、選択できます。

任意の日付形式をタップしてください。



時間を変更する場合

「時間」の時刻が表示されている枠内をタップすると、入力画面が表示されます。

任意の時刻にあわせてください。

『確認』アイコンをタップしてください。



時間形式を変更する場合

時間形式の表示は24時間表示か12時間表示の2種類から選択できます。

「時間形式」の枠内をタップすると、選択できます。

任意の時間形式をタップしてください。



4. 変更を確定するには『保存』アイコンをタップしてください

「構成保存完了」画面が表示されます。



『OK』アイコンをタップして表示を消してください。



5. 『☰』をタップしてサイクルグループ一覧の画面、または『🏠』をタップしてダッシュボード画面に戻ってください

言語の変更

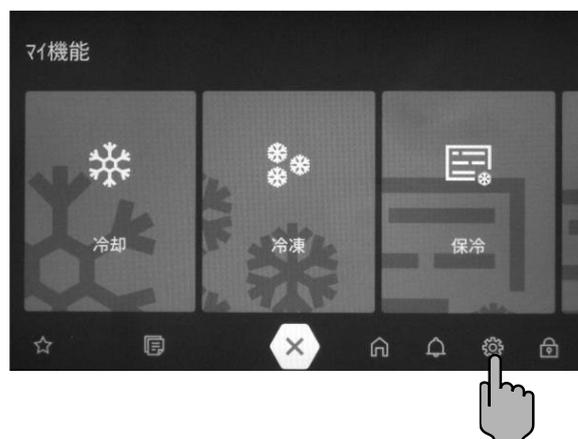
画面に表示する言語を変更することができます。
工場出荷時の設定は日本語です。

お願い

日本語を使用する場合は、他の言語に変更しないでください。

1. サイクルグループ画面右下の『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. 『ディスプレイとサウンド』をタップしてください

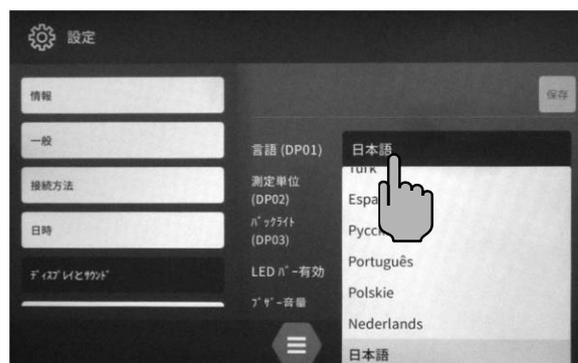
「ディスプレイとサウンド」の設定項目が表示されます。



3. 言語を変更してください

「言語(DP01)」の言語名が表示されている枠内をタップすると、言語名の一覧が表示されます。

お好みの言語名をタップしてください。



4. 変更を確定するには『保存』アイコンをタップしてください

「構成保存完了」画面が表示されます。



『OK』アイコンをタップして表示を消してください。



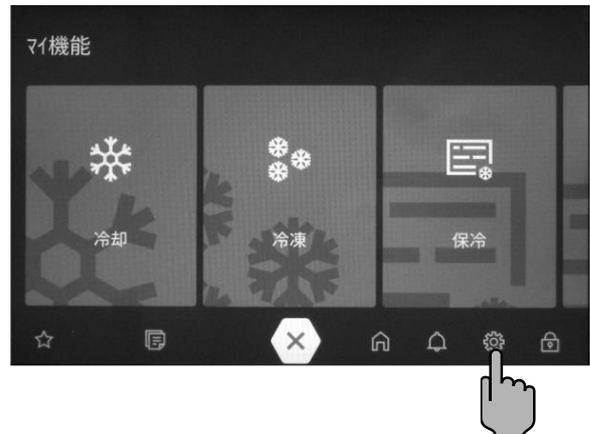
5. 『☰』をタップしてサイクルグループ一覧の画面、または『🏠』をタップしてダッシュボード画面に戻ってください

ブザー音の音量設定

サイクル完了時やアラームコード表示時に鳴るブザー音の音量の設定です。

1. サイクルグループ画面右下の『』アイコンをタップしてください

「設定」画面が表示されます。



2. 『ディスプレイとサウンド』をタップしてください

「ディスプレイとサウンド」の設定項目が表示されます。



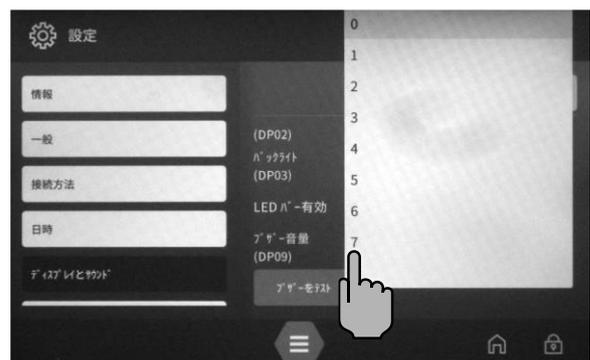
3. 音量を変更してください

「ブザー音量(DP09)」の値が表示されている枠内をタップすると、音量の値の一覧が表示されます。

お好みの音量をタップしてください。

設定範囲：0 ～ 8

0は消音になります。



4. 『保存』アイコンをタップして確定してください

『保存』アイコンをタップしないと、変更は確定されません。

「構成保存完了」画面が表示されます。

『OK』アイコンをタップして表示を消してください。



5. 『ブザーをテスト』アイコンをタップ設定してブザー音を鳴らしてください

音量がお好みになっているか確認してください。

再度変更が必要な場合は、「3.」～「4.」の操作をおこなって変更してください。



6. 『☰』をタップしてサイクルグループ一覧の画面、または『🏠』をタップしてダッシュボード画面に戻ってください

庫内の除菌機能「サニジェン」

本機には、庫内を除菌する機能「サニジェン」が標準で搭載されています。

「サニジェン」は、酸素を活性化させ、庫内の微生物を酸化させ除菌する機能で、「サニジェン」が動作すると、庫内全体に活性酸素が行き渡り除菌をおこないます。

「サニジェン」がONになっていると、本機専用ブレーカが『ON(入)』になっている間、設定した条件になると「サニジェン」が動作します。

扉が開いているときは、「サニジェン」は動作しません。

通常、ディスプレイには「サニジェン」が動作しているかどうかの表示はされません。

本機専用ブレーカが『ON(入)』にしたときや扉を開閉したときに庫内ファンが10秒間回転します。

お願い

サニジェンの除菌効果を維持するため、サニジェンのガラスシリンダーは年に一度交換してください。交換用のガラスシリンダーは、弊社へ発注してください。

「サニジェン」の動作について

「サニジェン」は、動作と休止を繰り返しておこないます。

庫内温度が0℃以上の場合、自動的に庫内の除菌が始まります。

除菌時間は40分間です。

除菌中、庫内ファンは10分おきに10秒間回転します。

次の除菌時間は除菌完了後から6時間後に除菌を開始します。

本機専用ブレーカを入れたままで、除菌完了後6時間以上、扉の開閉をおこなわなかった場合、次の除菌は除菌完了後から26時間後に開始されます。

除菌完了後、26時間経過していなくても、一度扉を開閉すると、6時間以内に除菌を開始します。

除菌時間は40分間です。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗剤は絶対に使用しないでください。

洗剤を使用する際は食器用中性洗剤を使用してください。

洗剤を使用した場合は洗剤成分が残らないように、すすぎ洗いをおこない、乾燥させてください。

十分に乾燥させないと錆および腐食の原因になります。

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

毎日のお手入れ

ここでは使用前、または使用後のお手入れについて説明します。

警告



庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして清掃すること

庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなることがあります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



お手入れのときや、点検のときは、必ず本機専用ブレーカを『OFF(切)』にすること

漏電、ショート、感電の原因になります。

誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。



庫内のファンカバーを開けるときは、必ず本機専用ブレーカを『OFF(切)』にすること

庫内ファンが回っている場合、または誤ってディスプレイに触れて庫内ファンが回った場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分すすぎをおこない乾燥させること
洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。



庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

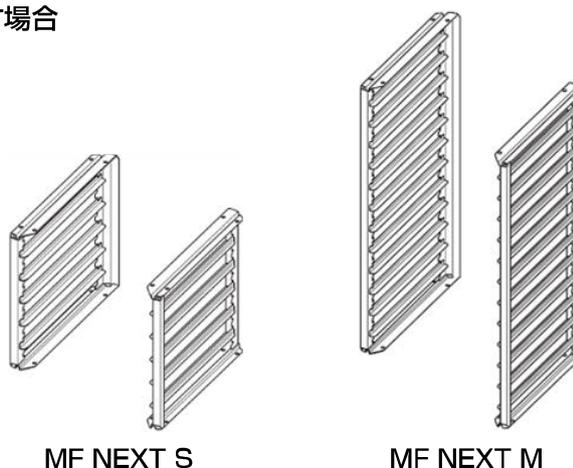
1. 本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてください

2. 棚板と棚枠を洗浄してください

庫内から、棚板と棚枠を取り外してください。

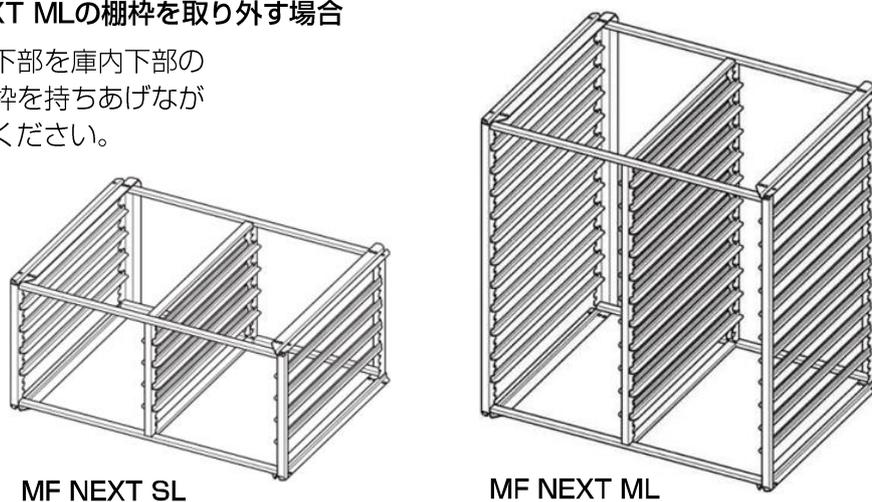
MF NEXT S、MF NEXT Mの棚枠を取り外す場合

棚枠を持って上にあげながら棚枠下部を庫内下部の固定ピンから外してください。
棚枠下部を庫内中央にずらしながら、棚枠上部を庫内上部の固定ピンから外してください。



MF NEXT SL、MF NEXT MLの棚枠を取り外す場合

棚枠を持ちあげて棚枠下部を庫内下部の固定ピンから外し、棚枠を持ちあげながら庫内から取り出してください。



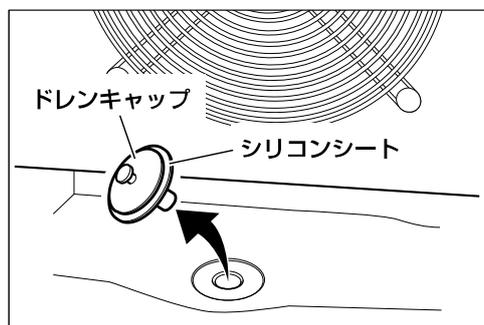
棚板と棚枠は、中性洗剤で洗浄し、洗浄後は水で洗剤成分を洗い流してください。
棚板と棚枠に付着した水分を拭き取ってから十分乾燥させてください。
棚板と棚枠にアルコール除菌剤をスプレーし、乾燥させてください。

3. ドレンキャップ (シリコンシート) を取り外してください

庫内底部にある排水口からドレンキャップ (シリコンシート) を取り外してください。

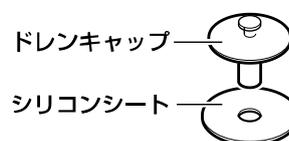
ドレン水などが、排水口より本機下部のドレンパンに流れ落ちます。

ドレンパンが溢れないよう排水量に注意してください。



ドレンキャップからシリコンシートを取り外してください。

ドレンキャップ、シリコンシートをお手持ちの食器用中性洗剤を使用して洗浄し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

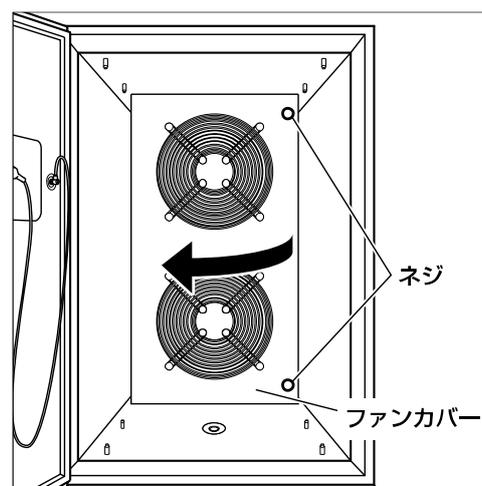


4. ファンカバーを開いてください

ファンカバーを固定しているネジを付属のマイナスドライバーで取り外してください。

- | | |
|------------|-----------|
| MF NEXT S | ……………ネジ2個 |
| MF NEXT SL | ……………ネジ2個 |
| MF NEXT M | ……………ネジ2個 |
| MF NEXT ML | ……………ネジ3個 |

ファンカバーを開いてください。



5. 庫内を洗浄してください

お願い

庫内奥の蒸発器は水洗いが可能ですが、手前の庫内ファンやサニジェンには直接、水や洗浄剤をかけないでください。

庫内ファンは、防沫構造になっており、防水ではありません。

庫内奥の蒸発器は洗剤を使って洗浄する場合、食器用中性洗剤を使用し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

かたいブラシを使ったり、ブラシを横方向に動かしたりすると、フィンを破損する原因になります。

蒸発器のフィンは、変形、破損しやすいため、物などをぶつけないようにしてください。

蒸発器のフィンが変形、破損すると、冷却不良の原因になります。

ファンカバーとドレンキャップを食器用中性洗剤で洗った後、水で洗剤成分をきれいに洗い流してください。

きれいな乾いた布でファンカバーとドレンキャップに付着した水分を拭き取ってください。

食器用中性洗剤を染み込ませた布やスポンジで、庫内全体、庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンを清掃してください。

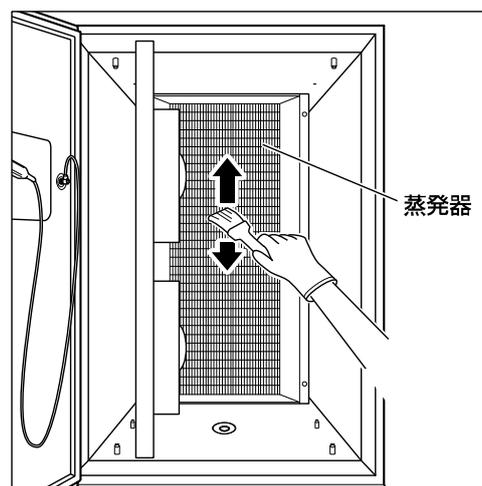
蒸発器は水洗いしてください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

洗剤を使って洗浄する場合は、食器用中性洗剤を使用し、洗浄後は洗剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンは、すすぎ洗いしたきれいな布で、洗剤成分をきれいに拭き取ってください。

きれいな乾いた布で庫内に残った水分を拭き取ってください。



各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

ファンカバーを閉めて、ネジで固定してください。

MF NEXT S	……………ネジ2個
MF NEXT SL	……………ネジ2個
MF NEXT M	……………ネジ2個
MF NEXT ML	……………ネジ3個

6. 霜取り（デフロスト）を使って庫内を乾燥させてください

警告



庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

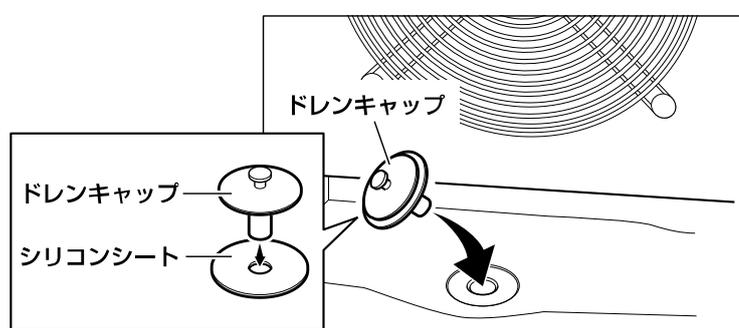
お願い

庫内の洗浄後は、十分乾燥させてください。
水分が残っていると、カビや錆の原因になります。

「庫内の霜取りのしかた」(64ページ)を参照して「霜取り」をおこなって庫内を乾燥させてください。



「霜取り」のサイクル完了後、庫内底部の排水口にドレンキャップを取り付けてください。ドレンキャップは、シリコンシートを必ず取り付けてください。



7. ドレンパンを洗浄してください（ドレンパンをご使用の場合）

本機の下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、たまった水などを捨ててください。ドレンパンをお手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。ドレンパンをすすぎ洗いをして、付着した洗剤成分を完全に洗い流してください。ドレンパンに付着している水分を乾いた布で拭き取ってください。ドレンパンを本機の下部に元通り取り付けてください。

8. 本体外装を清掃してください

警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

週に1回のお手入れ

ここでは週に一度、使用後におこなっていただくお手入れについて説明します。

⚠ 注意



凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



庫内を洗浄するときや、空気吸い込み口カバー内の凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してから洗浄や清掃をおこなうこと
ケガの原因になります。

お願い

週に一度、使用後に凝縮器フィンの清掃をおこなってください。

本体下部にある凝縮器フィンにゴミやホコリが付着しますと、正常な運転ができなくなり、故障の原因になります。

1. 本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてください

2. 扉を開けてください

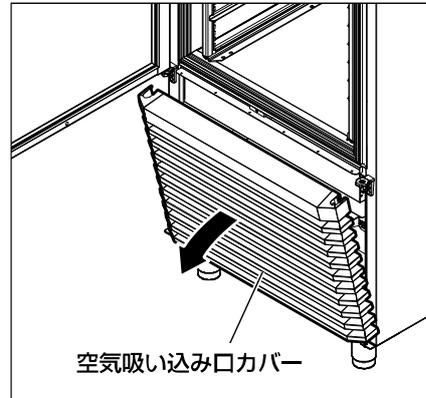
3. 本機前面下部の空気吸い込み口カバーを開けてください

空気吸い込み口カバーは、マグネットで止まっています。
空気吸い込み口カバーの上部を持って手前に引くとカバーが少し開きます。

お願い

空気吸い込み口カバーを開けるときは、配線に注意してください。

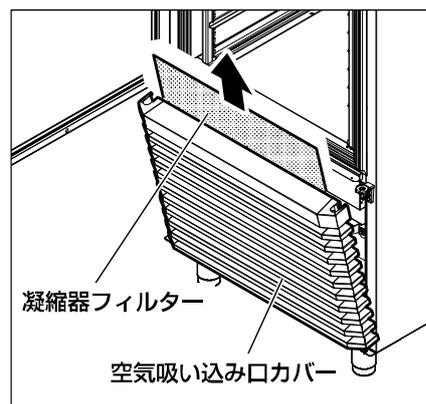
空気吸い込み口カバーは、本体側と配線で繋がっているため、完全に取り外すことができません。
配線を引っ張ると、故障の原因になります。



4. 凝縮器フィルターを取り外して洗浄してください

空気吸い込み口カバーの内側に取り付けている凝縮器フィルターを取り外して、水で洗浄してください。

凝縮器フィルターを洗浄した後は、陰干しして完全に乾燥させてください。



5. 空気吸い込み口カバーの内側に凝縮器フィルターを元通り取り付けてください
6. 空気吸い込み口カバーを元通り閉めてください

6ヶ月に1回のお手入れ

サニジェンの除菌効果の維持のため、6ヶ月に1回お手入れをしてください。

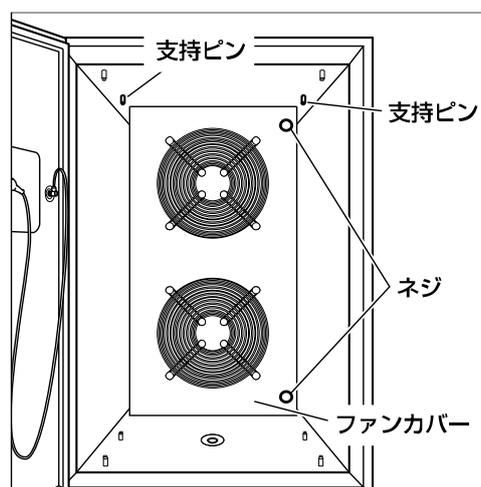
1. 本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてください

2. 扉を開けて左右の棚枠を取り外してください

3. ファンカバーを開けてください

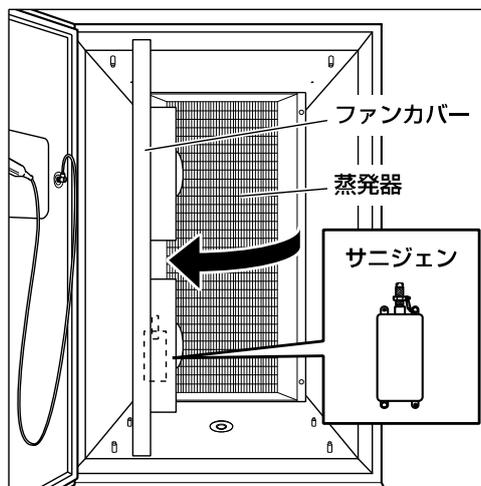
ファンカバーを固定しているネジを付属のマイナスドライバーで取り外してください。

MF NEXT S	……………ネジ2個
MF NEXT SL	……………ネジ2個
MF NEXT M	……………ネジ2個
MF NEXT ML	……………ネジ3個



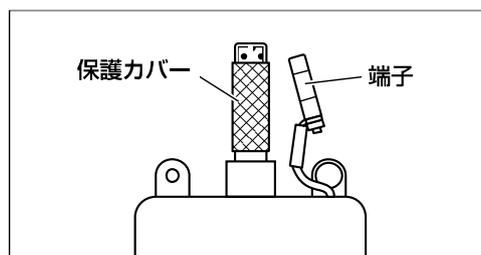
ファンカバーを開いてください。

サニジェンは蒸発器の左側にあります。



4. サニジェンの保護カバーから端子を外してください

保護カバーを手で押さえながら、端子を外してください。

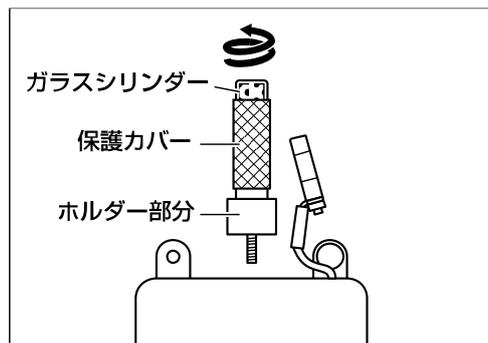


5. サニジェンのガラスシリンダーを取り外してください

ガラスシリンダーの取付けはネジになっています。
下部の赤色のホルダー部分を持って反時計方向に回して取り外してください。

お願い

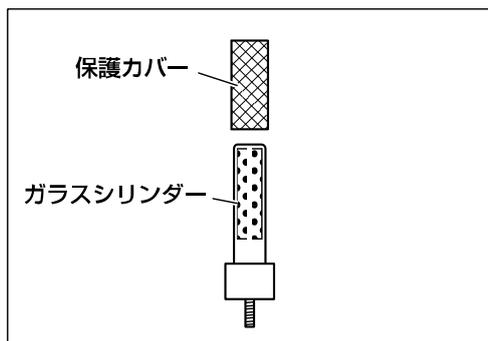
ガラスの部分や保護カバー部分を持って回さないでください。
ガラスの部分を持って回すと、ガラスの割れの原因になります。



6. ガラスシリンダーから保護カバーを取り外してください

お願い

保護カバーを取り外すときは、内側のガラスシリンダーに傷をつけないようにしてください。
傷がつくと割れる原因になります。



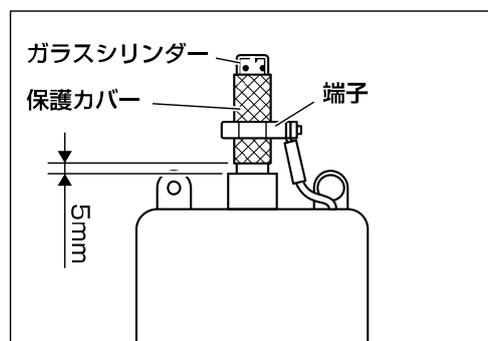
7. 保護カバーとガラスシリンダーのお手入れをおこなってください

保護カバーは、ぬるま湯で洗った後、水分をよく拭き取ってください。
ガラスシリンダーは、やわらかい布で傷が付かないように汚れを拭き取ってください。
ガラスシリンダーに傷やひび割れなどがなければ確認してください。
傷やひび割れがあった場合は交換が必要です。お買い上げ店へ連絡してください。

8. ガラスシリンダーと保護カバーをサニジェンに元どおり取り付けてください

お願い

ガラスシリンダーは、必要以上に締め付けしないでください。
締め付け過ぎますと、ガラスの割れの原因になります。



9. 保護カバー部分にサニジェンの端子を取り付けてください

お願い

保護カバーは、ガラスシリンダーの赤色のホルダー部分から5mm程度離してください。

10. ファンカバーを閉めてください

ファンカバーは、ネジで固定してください。

MF NEXT S	……………ネジ2個
MF NEXT SL	……………ネジ2個
MF NEXT M	……………ネジ2個
MF NEXT ML	……………ネジ3個

11. 庫内に棚枠を元どおり取り付けてください

お願い

サニジェンの除菌効果を維持するためガラスシリンダーは、年に一度交換してください。
交換用のガラスシリンダーは、弊社へ発注してください。

故障の症状と処置

故障かなと思ったら

故障かなと思われ修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF(切)」にし、本機専用ブレーカも『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症状	確認 / 原因	処置
本機専用ブレーカを『ON(入)』にしたとき、20 秒以上待っても画面に何も表示されない	—	お買上げ店へ連絡してください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードが正しく接続されている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
「霜取り」サイクルをおこなったにもかかわらず蒸発器の霜がとれていない	サイクルの動作中、扉は充分に開いていましたか？	扉の開きが不十分だった場合、霜が残ることがあります。扉を充分に開けた状態で、「霜取り」のサイクルをおこなってください。
	蒸発器に付着した霜の量と、「霜取り」サイクルの時間があっていなかった可能性があります	蒸発器に付着した霜の量が多い場合は「霜取り」サイクルの時間を長めに設定変更してください。
	すべての蒸発器ファンは回転していましたか？	蒸発器ファンが回転していない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	本機を使用している部屋の温度は16℃以上ありますか？	部屋の温度が16℃に満たない場合は、エアコンなどで室温を16℃以上にしてから「霜取り」サイクルをおこなってください。
冷却、または冷凍のサイクルを動作させても庫内の温度が下がらない	蒸発器に多量の霜が付着していませんか？	「霜取り」サイクルをおこなってください。 「霜取り」サイクルをおこなっても蒸発器の霜が取りきれない場合は、サイクルの時間を長めに設定変更して「霜取り」サイクルをおこなってください。
	蒸発器ファンの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
	庫内温度センサーの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
	冷媒ガスの漏れ？	お買上げ店へ連絡してください。

症状	確認 / 原因	処置
冷却、または冷凍のサイクルを動作させても庫内の温度が下がるのが異常に遅い	蒸発器に多量の霜が付着していませんか？	蒸発器に霜が付着している場合は、「霜取り」サイクルをおこなってください。 「霜取り」サイクルをおこなっても蒸発器の霜が取りきれない場合は、サイクルの時間を長めに設定変更して「霜取り」サイクルをおこなってください。
	蒸発器ファンの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
	凝縮器フィルターが汚れていませんか？	凝縮器フィルターを取り外して洗浄してください。
	庫内温度センサーの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
	冷媒ガスの漏れ？	お買上げ店へ連絡してください。
加熱のサイクルを動作させても庫内の温度が上がらない	サイクルの設定温度が間違っていますか？	サイクルの設定温度を確認してください。
	庫内温度センサーの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
	芯温プローブの動作不良？	お買上げ店へ連絡してください。
冷凍のサイクルを動作させると庫内や食材に多量の霜が付着する	庫内底面のドレンキャップは取り付けられていますか？ ドレンキャップにシリコンシートは取り付けられていますか？	ドレンキャップ、シリコンシートが取り付けられていないと外からの空気が侵入し、空気中に含まれる水分が霜として付着します。
	扉のパッキン、または本体側のパッキンが取れたり、浮き上がったりにしていませんか？	パッキンに隙間があると、庫内に外からの空気が侵入し、空気中に含まれる水分が霜として付着します。
	扉を頻繁に開閉していませんか？	扉を開閉しますと、庫内に外からの空気が入り、空気中に含まれる水分が霜として付着します。 扉を頻繁に開閉しないようにしてください。
	本機を使用している部屋の湿度は高くありませんか？	湿度が高いと、扉を開閉した際に庫内に外からの湿気を含んだ空気が入り、空気中に含まれる水分が霜として付着します。 扉を頻繁に開閉しないようにしてください。
	扉はしっかり閉まりますか？	扉がしっかりと閉まらない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

症状	確認 / 原因	処置
本機から異常音がする	本機がグラついていませんか？	本機がグラついている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
庫内から異常音がする	蒸発器ファンの回転に異常はありませんか？	蒸発器ファンの回転に異常がある場合は、お買上げ店へ連絡してください。
食材の仕上がりが均一にならない	蒸発器ファンの動作不良？	蒸発器ファンの回転に異常がある場合は、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が「OFF(切)」に作動する	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグ（電源プラグ使用の場合）が異常に熱くなる	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しななかったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。

アラームコード

アラームコードについて

本機は、異常が発生した場合、ディスプレイにアラームコードが表示され、アラーム音が鳴ります。ディスプレイにアラームコードが表示された場合は、下記表を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機専用ブレーカを『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番、お買上げ日、アラームコード、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

アラームコード	説明	主な原因	手当
A04	時計機能 RTC アラーム	時刻が正しく設定されていない	正しい時刻に設定してください。
		停電などで、本機への電源供給がされなかった	お買上げ店へ連絡してください。
A10	芯温プローブのポイント1アラーム	芯温プローブの異常	お買上げ店へ連絡してください。
A11	芯温プローブのポイント2アラーム	芯温プローブの異常	お買上げ店へ連絡してください。
A12	芯温プローブのポイント3アラーム	芯温プローブの異常	お買上げ店へ連絡してください。
A15	チャンバー温度プローブアラーム (RV1)	チャンバー温度プローブの異常	お買上げ店へ連絡してください。
A16	デフロスト終了温度プローブアラーム (RV5)	蒸発器に多量に霜が付着した状態になっている	霜取りをおこなってください。 普段より、ご使用後や加熱機能のご使用前に、霜取りをおこなうようにしてください。
		終了温度プローブの異常	お買上げ店へ連絡してください。
A17	空気吸込口内温度プローブアラーム (RV6)	空気吸込口内温度プローブの異常	本機は、周囲温度が32℃を超えないところに設置してください。
A21	コンデンサー1温度プローブアラーム 対象機種： S / SL / ML / LL	コンデンサープローブ RV8.1 の異常	お買上げ店へ連絡してください。

アラームコード	説明	主な原因	手当
A22	コンデンサー2 温度プローブ アラーム 対象機種： ML / LL	コンデンサープローブ RV8.2 の異常	お買い上げ店へ連絡してください。
A23	コンデンサー3 温度プローブ アラーム 対象機種： L / LL	コンデンサープローブ RV8.3 の異常	お買い上げ店へ連絡してください。
A28	オープンドア アラーム	冷却または加熱中に 扉が開いた	扉を閉めてください。
		ドアマイクロスイッチの異常	お買い上げ店へ連絡してください。
A29	クローズドドア アラーム	デフロストサイクル 中に扉が開いた	扉を閉めてください。
A30	周囲温度の 高温アラーム	本機の周囲温度が 38℃を超えている	本機は、周囲温度が38℃を超えないところに設置してください。
		ループプローブ RV6 の異常	お買い上げ店へ連絡してください。
		本機の周囲温度が 5℃以下である	室内温度を5℃以上にしてください。
A31	サイクル実行中に 停電が発生したことを知らせる アラーム	サイクル実行中に停電が発生したことを知らせている	お買い上げ店へ連絡してください。
A53	コンデンサー1 高温アラーム	本機の周囲温度が 32℃を超えている	本機は、周囲温度が32℃を超えないところに設置してください。
		庫内ファン、または凝縮器ファンが回っていない	お買い上げ店へ連絡してください。
		本機下部、空気吸込口の凝縮器フィルターが汚れている	凝縮器フィルターの清掃をおこなってください。
		空気吸込口や本機背面の空気排出口周辺が障害物などで塞がれている	障害物を取り除いてください。
A54	コンデンサー2 高温アラーム	本機の周囲温度が 32℃を超えている	本機は周囲温度が32℃を超えないところに設置してください。
		庫内ファン、または凝縮器ファンが回っていない	お買い上げ店へ連絡してください。

アラームコード	説明	主な原因	手当
		本機下部、空気吸込口の凝縮器フィルターが汚れている	凝縮器フィルターの清掃をおこなってください。
		空気吸込口や本機背面の空気排出口周辺が障害物などで塞がれている	障害物を取り除いてください。
A55	コンデンサー3 高温アラーム	本機の周囲温度が32℃を超えている	本機は周囲温度が32℃を超えないところに設置してください。
		庫内ファン、または凝縮器ファンが回っていない	お買い上げ店へ連絡してください。
		本機下部、空気吸込口の凝縮器フィルターが汚れている	凝縮器フィルターの清掃をおこなってください。
		空気吸込口や本機背面の空気排出口周辺が障害物などで塞がれている	障害物を取り除いてください。
A56	コンデンサー1DT 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A57	コンデンサー2DT 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A58	コンデンサー3DT 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A59	コンデンサー1TC 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A60	コンデンサー2TC 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A61	コンデンサー3TC 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。
A62	全コンデンサー 低温アラーム	—	お買い上げ店へ連絡してください。

上記以外のアラームコードが表示された場合もお買い上げ店にご連絡ください。

アラームの通知履歴の確認

アラームが表示された場合、アラームの通知履歴として記録されます。

アラームの通知履歴は、最大5件まで記録されます。

すでにアラームの通知履歴が5件記録されている状態で、新しくアラームの通知履歴が追加記録されると、1番古い通知履歴が削除されます。

ここでは、アラームの通知履歴の確認のしかたについて説明します。

1. ダッシュボード画面で『🔔』アイコンをタップしてください

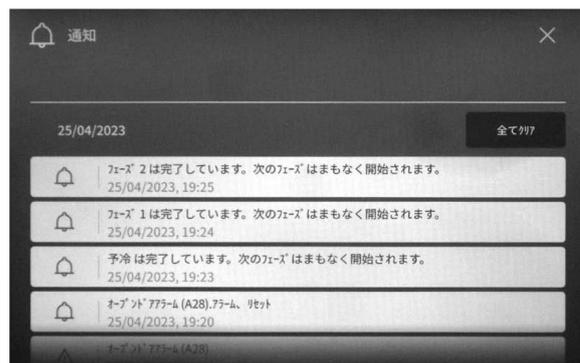
「通知」画面が表示されます。



2. アラームの通知履歴を確認してください

画面を指で上下にスクロールすることができます。

確認後、そのまま終了する場合は、画面右上の『×』をタップするとダッシュボード画面に戻ります。

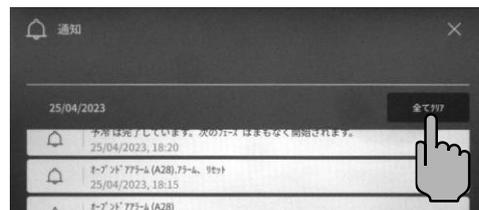


メモ

アラームの通知履歴を削除する場合は、『全てクリア』アイコンをタップしてください。

アラームの通知履歴が全て削除されます。

『×』をタップして、ダッシュボード画面に戻ってください。



据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備の準備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

⚠ 注意



本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと
熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水などをこぼしてもよい所に据え付けること
使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。
ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。
濡れると不都合な所には、据え付けないでください。



熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと
熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。

風通しのよい所へ据え付けてください

湿気の多いところは、機械の寿命を短くしますので避けてください。

直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が30℃を超える高温の場所には据え付けないでください

30℃を超えた場合、能力を100%出すことができない場合があります。
電気部品に影響をおよぼすなどして、故障の原因にもなります。

湿度が高い、高くなる所には、据え付けないでください

本機を使用する場所の湿度の条件

MF NEXT S、MF NEXT M : 55% 以下

MF NEXT SL、MF NEXT ML : 40% 以下

近くに他の冷却装置がある場合、本体外側の結露防止のため30mm以上離して据え付けてください

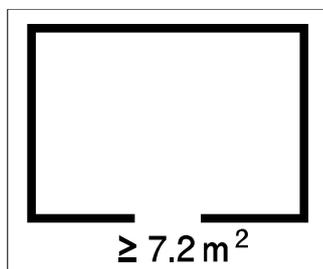
本機の前面は、操作パネルの操作、扉の開閉、食材の出し入れに支障がない十分なスペースを確保してください

本機の後面は、隣接面から100mm以上離してください

空気吸い込み口熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

本機の設置床面積は、本機に貼付しています「最小設置面積」に従って、7.2m²以上設けてください

設置面積が7.2m²に満たない場合、故障の原因になります。



振動のない所へ据え付けてください

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

本機を据付ける場所に近いところに、本機の専用ブレーカ（漏電遮断器付きサーキットブレーカー）を設備してください

電源コードの長さ：約2.5m

据付け

設置

本機を所定の場所に据付けた後は、アジャスト脚の長さを調節して、本体を水平にしてください

空気吸い込み口の前には、空気吸い込みの妨げになる物は置かないでください

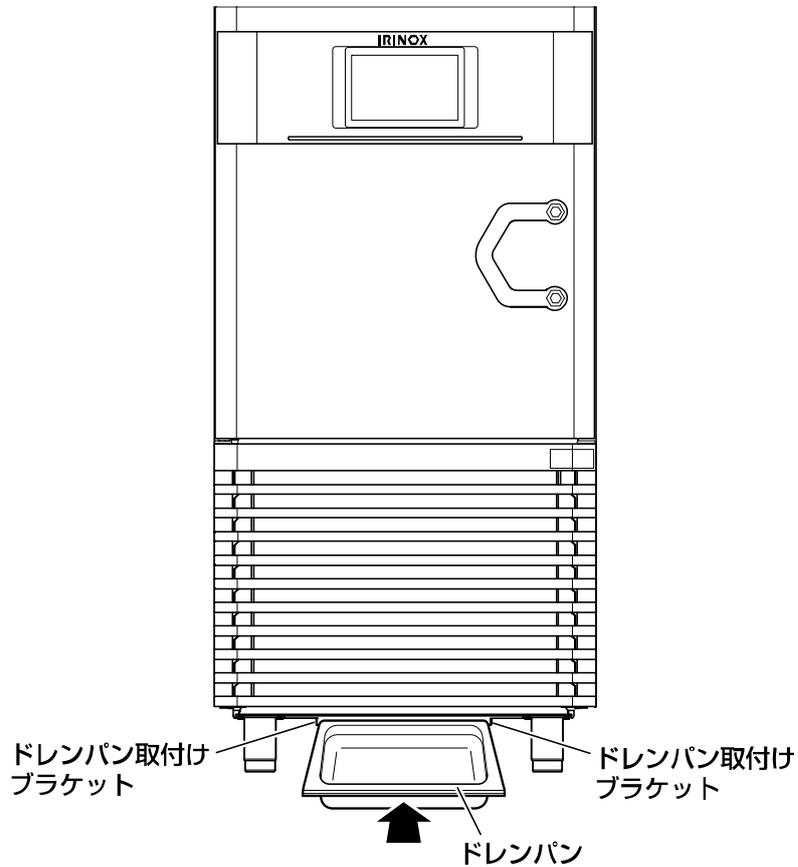
配線

1. 本機の電源コードを本機専用ブレーカ（漏電遮断器付きサーキットブレーカー）に直接接続してください
2. アース線（緑色の線）を設備側のアース端子に接続してください

庫内の排水について

ドレンパンで排水を受ける場合

本体底にあるドレンパン取付けブラケットに、ドレンパンを手前からスライドさせるようにして入れてください。



お願い

庫内に水をかけて洗浄する場合など、一度に大量の排水をおこなうとドレンパンがあふれることがあります。

数度に分けて排水をおこない、その都度ドレンパンに溜まった水などを捨ててください。

排水ホースを接続して設備の排水孔などに排水を流す場合

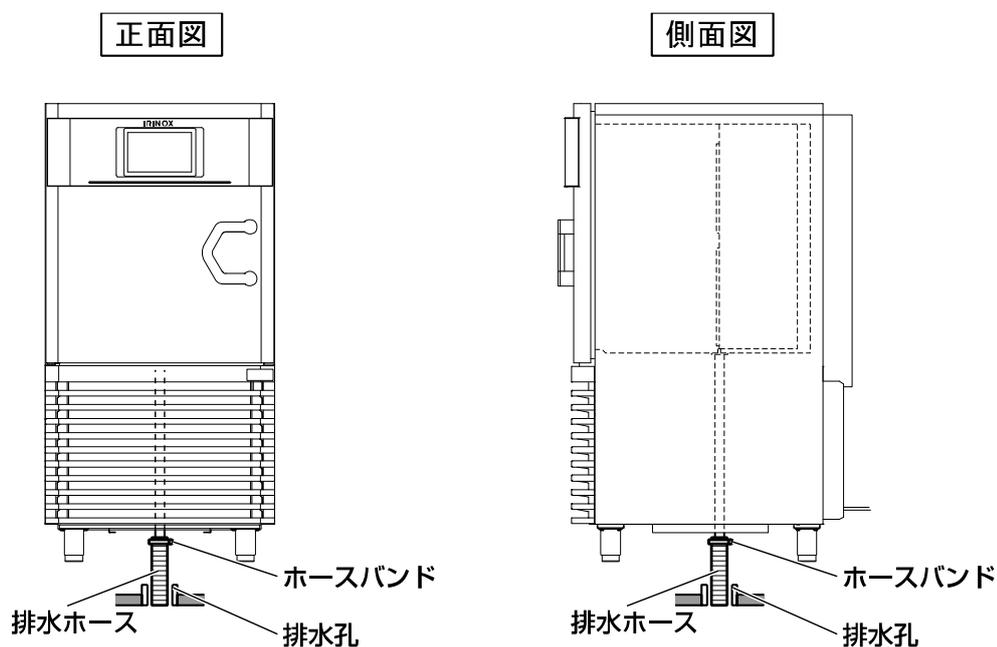
ドレンパンを使わずに、ドレンパイプの先端を本体底より引き出して排水ホースを接続し、排水孔または排水溝に排水を流すこともできます。

1. 本機背面の凝縮器ファンを取り付けているカバーを開けて、内部のドレンパイプを下方向へ伸ばしてください

カバーは、左側にある固定ネジ(六角穴付)を取り外すと開けることができます。

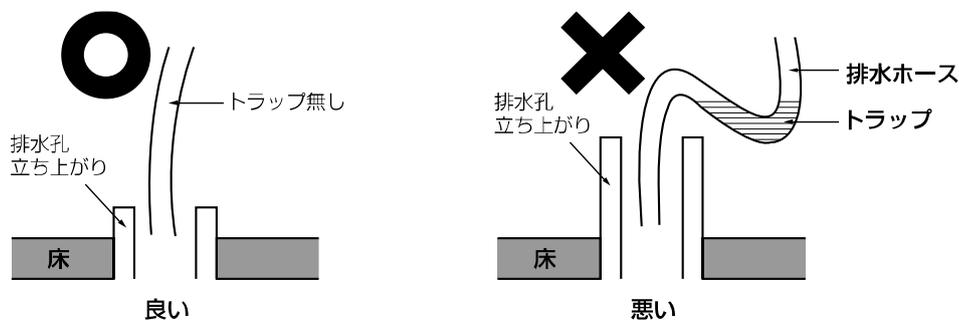
2. ドレンパイプの先に排水ホースを接続してください

ドレンパイプに接続した排水ホースは、抜けないようにホースバンドなどで固定してください。排水ホースを止めるためのホースバンドはお客様側でご用意ください。



3. ドレンパイプに接続した排水ホースの先端を排水孔または排水溝に差し込んでください

接続した排水ホースは、トラップのできないように排水孔または排水溝に差し込んでください。



4. 作業終了後は、本機背面にメッシュカバーを元どおりに取り付けてください。

据付後の動作確認

据え付け作業が終了しましたら、本機が正常に動作するか確認してください。

1. 本機専用ブレーカを『ON(入)』にしてください

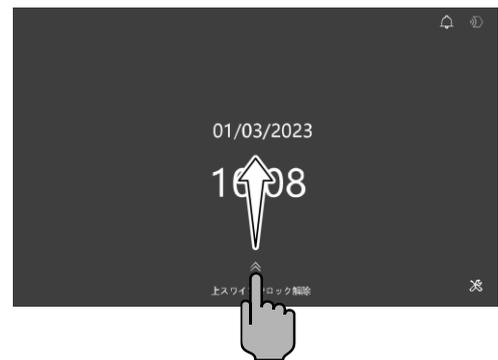
約1分後、ロック画面が表示されるまで待ってください。

2. 冷却をおこなって、動作を確認してください

本機の扉を閉めてください。

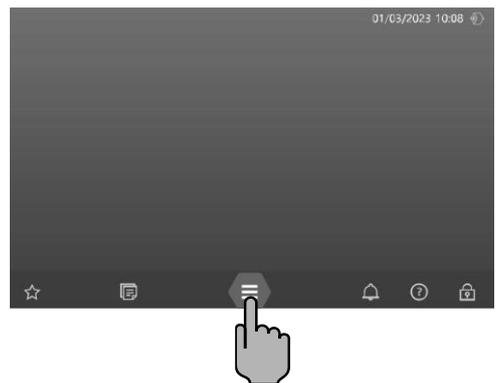
指で『』を上スライドしてください。

ダッシュボード画面が表示されます。



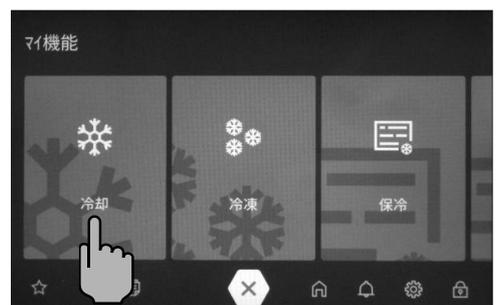
『』をタップしてください。

サイクルグループの一覧画面が表示されます。



『冷却』をタップしてください。

サイクルメニューの一覧画面が表示されます。



いずれかのサイクルメニューのアイコンをタップしてください。

サイクルメニューの内容が表示されます。



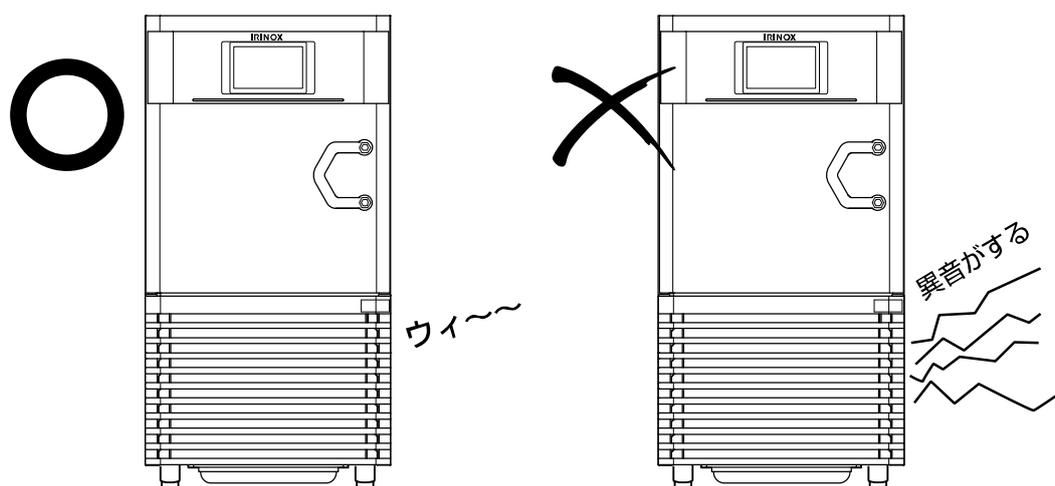
『開始』アイコンをタップしてください。

庫内の冷却が開始されますので、庫内の温度が下がることを確認してください。



お願い

MF NEXT ML は、サイクル中の動作時の音を確認してください。（他のMF NEXT は確認不要）



本機内部から異音が生じていなければ、本機の動作確認は完了です。

異音が生じている場合は『停止』アイコンをタップして機械を止め、本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてから、本機専用ブレーカに接続している電源コードを下図のように変更してください。電源コードの接続を変更したあと、再度冷却をおこなって、空気が吸い込まれることを確認してください。

異音が生じている場合の電源コード接続変更の方法



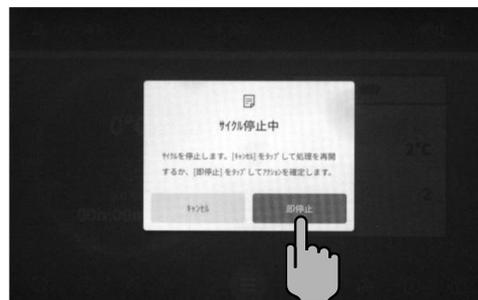
MF NEXT MLは、異音が生じている状態で、本機をご使用にならないでください。故障の原因になります。

4. 『停止』アイコンをタップして動作を止めてください

「サイクル停止中」画面が表示されます。



『即停止』アイコンをタップしてください。



現在の時刻および日付と違う場合は、「日時の変更」（74ページ）を参照して設定してください。

5. 本機専用ブレーカを『OFF(切)』にしてください

これで据付け完了です。

仕様

品名	ブラストチラー&ショックフリーザー [イリノックス]
型式	MF NEXT S
外形寸法	幅 790・奥行 802・高さ 870mm (突起物を含む 奥行 841mm) (高さ調整範囲 870~905mm)
電源	単相 200V 50/60Hz
電流	7.9A
消費電力	1.0kW
庫内ファンモーター	200V 20W (冷気循環用) × 1
ヒーター	200V 730W × 1
圧縮器	200V 803W 空冷式
冷媒	R290(プロパン) 150g
標準温度設定	チリング : -5℃ (1次冷却) ~ -1℃ (2次冷却) (調整可能) フリージング : -35℃ (1次冷却) ~ -20℃ (2次冷却) (調整可能)
芯温計設定	チリング : 3℃ (調整可能) フリージング : -18℃ (調整可能)
処理量	チリング : 25kg フリージング : 25kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 650・奥行 420・高さ 363mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	20mm(最小間隔) × 15段
収納ホテルパン/天板	ホテルパン : GN 1/1、天板600×400 (ホテルパン、天板はオプションです)
収納ホテルパン数	GN 1/1 or 600×400 深さ 65mm 4枚 40mm 5枚 20mm 8枚 (付属棚数 8対)
質量	100kg
電源コード	1.5mm ² 3心 長さ2.5m 外径φ11.1mm

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

品名	ブラストチラー&ショックフリーザー [イリノックス]
型式	MF NEXT SL
外形寸法	幅 870・奥行 932・高さ 870mm (突起物を含む 奥行 971mm) (高さ調整範囲 870~905mm)
電源	単相 200V 50/60Hz
電流	9.5A
消費電力	1.8kW
庫内ファンモーター	200V 20W (冷気循環用) × 1
ヒーター	200V 730W × 1
圧縮器	200V 803W 空冷式
冷媒	R290(プロパン) 150g
標準温度設定	チリング : -5℃ (1次冷却) ~ -1℃ (2次冷却) (調整可能) フリージング : -35℃ (1次冷却) ~ -20℃ (2次冷却) (調整可能)
芯温計設定	チリング : 3℃ (調整可能) フリージング : -18℃ (調整可能)
処理量	チリング : 40kg フリージング : 40kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 730・奥行 550・高さ 363mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	20mm(最小間隔) × 15段 × 2列
収納ホテルパン/天板	ホテルパン : GN 1/1、天板600×400 (ホテルパン、天板はオプションです)
収納ホテルパン数	GN 1/1 or 600×400 深さ 65mm 8枚 40mm 10枚 20mm 16枚 (付属棚数 16対)
質量	140kg
電源コード	1.5mm ² 3心 長さ2.5m 外径φ11.1mm

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

品名	ブラストチラー&ショックフリーザー [イリノックス]
型式	MF NEXT M
外形寸法	幅 790・奥行 858・高さ 1590mm (突起物を含む 奥行 1012mm) (高さ調整範囲 1590~1640mm)
電源	三相 200V 50/60Hz
電流	11.1A
消費電力	2.0kW
庫内ファンモーター	200V 20W (冷気循環用) × 2
ヒーター	200V 1170W × 1
圧縮器	200V 803W 空冷式 × 2
冷媒	R290(プロパン) × 2 各150g
標準温度設定	チリング : -5℃ (1次冷却) ~ -1℃ (2次冷却) (調整可能) フリージング : -35℃ (1次冷却) ~ -20℃ (2次冷却) (調整可能)
芯温計設定	チリング : 3℃ (調整可能) フリージング : -18℃ (調整可能)
処理量	チリング : 50kg フリージング : 50kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 650・奥行 420・高さ 783mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	20mm(最小間隔) × 37段
収納ホテルパン/天板	ホテルパン : GN 1/1、天板600×400 (ホテルパン、天板はオプションです)
収納ホテルパン数	GN 1/1 or 600×400 深さ 65mm 9枚 40mm 12枚 20mm 18枚 (付属棚数 18対)
質量	175kg
電源コード	2.5mm ² 4心 長さ2.5m 外径φ9.6mm

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

品名	ブラストチラー&ショックフリーザー [イリノックス]
型式	MF NEXT ML
外形寸法	幅 870・奥行 988・高さ 1590mm (突起物を含む 奥行 1145mm) (高さ調整範囲 1590~1640mm)
電源	三相 200V 50/60Hz
電流	16A
消費電力	4.0kW
庫内ファンモーター	200V 20W (冷気循環用) × 2
ヒーター	200V 1170W × 1
圧縮器	200V 2850W 空冷式 × 2
冷媒	R290(プロパン) × 2 各150g
標準温度設定	チリング : -5℃ (1次冷却) ~ -1℃ (2次冷却) (調整可能) フリージング : -35℃ (1次冷却) ~ -20℃ (2次冷却) (調整可能)
芯温計設定	チリング : 3℃ (調整可能) フリージング : -18℃ (調整可能)
処理量	チリング : 80kg フリージング : 80kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 730・奥行 550・高さ 783mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	20mm(最小間隔) × 37段 × 2列
収納ホテルパン/天板	ホテルパン : GN 1/1、天板600×400 (ホテルパン、天板はオプションです)
収納ホテルパン数	GN 1/1 or 600×400 深さ 65mm 18枚 40mm 24枚 20mm 36枚 (付属棚数 36対)
質量	220kg
電源コード	2.5mm ² 4心 長さ2.5m 外径φ9.6mm

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

パッキン類	シリコンシート	凝縮器フィルター
サニジェンの保護カバー	サニジェンのガラスシリンダー	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>